

# FRONTIER



No.62  
2023/2/20

## Contents

- ・2023年新年交礼会・北海道大学ホームカミングデー2022
- ・活躍するリーダーに聞く 〈三井化学株式会社 橋本修さん〉
- ・海外の同窓生に聞くコロナの状況・未来の起業家を育成する北大テックガレージ
- ・グローバル同窓生〈寄稿〉・職場奮戦記〈寄稿〉・仲間のお店応援!

表紙の写真 (左上から) 機械S47年卒同窓会 参加者、宮本真さん、木綿弘子さん [絵画]、水永優紀さん

辻口輝さんと阿部優樹さん、多磨霊園墓参 参加者

前川功一郎さん、黒須成弘さん、橋本修さん、三次啓都さん、小川晃一先生とゼミ生

若林高明さん、荒木是郎さん、北大合唱団東京OB会

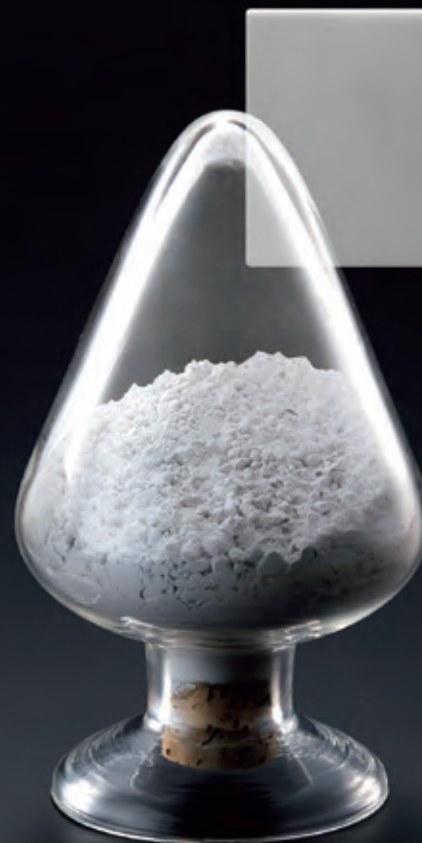
2023年 東京同窓会 新年交礼会 総務委員会	4
年頭のご挨拶 横田浩・杉江和男	
北海道大学ホームカミングデー2022	6
—第11回ホームカミングデーを終えて— 北海道大学社会共創部広報課	
風景との対話 「3年ぶりの東京黒百合展」 木綿弘子	13
昭和の北大 永遠の日々を懐く「昭和中期のある農化学生の思い出(前編)」 若林高明	14
トップインタビュー 三井化学株式会社 橋本修さん 広報委員会	18
海外の同窓生に聞くコロナの状況	22
①カナダ/増田千苗 ②スウェーデン/堀井靖代 ③イギリス/佐藤富太郎	
④ミャンマー/瀬戸山洋介 ⑤インドネシア/藤井真治 ⑥中国/津田賢一	
小川晃一先生を偲んで ~先生とゼミ生の半世紀~ 石堂正信	27
未来の起業家を育成する 北大テックガレージ 千脇美香	28
グローバル同窓生 「好奇心の先に—」 三次啓都	30
「世界のトップブランドで働いて」 前川功一郎	32
北大合唱団東京OB会 クラーククラブ第12回演奏会 松下国弘	34
機械S47年卒同窓会「卒業50周年記念会」 留目一英	35
職場奮戦記 「ワイン産地・北海道の発展を目指して」 黒須成弘	36
「中小企業支援!で再スタート」 宮本真	38
「マダニを活用した地域おこし—厄介者の商品化—」 水永優紀	40
「開拓者魂で邁進する魚屋」 荒木是郎	42
多磨霊園墓参 「2022年の墓参を終えて」 浅田清	45
書評コーナー 『「渡し」にはドラマがあった』 平田更一	46
仲間のお店応援! 広報委員会	48
海鮮食堂「余市」/ベルギービール専門店「コム・ラ・グーズ」/薬膳スープカレー「シャナイア」	
自家製モッツアレラチーズ「七富チーズ工房」/スパイスカレー「curry草枕」/Glass Fed Milk 100%「ミルクデザイン」	
名刺広告	52
新入会員・計報	55
北海道大学の近況(2022年夏・秋) 北海道大学社会共創部広報課	56
事務局からのお知らせ/4コマ漫画「くらあくとの北大あるある」 高野葵	62
北海道の花 「ヨツバシオガマ」 鮫島惇一郎	64

## 企業広告

株式会社コスモスイニシア / 中外製薬株式会社 / 株式会社トクヤマ / 日本軽金属株式会社 /  
株式会社プライダル / 株式会社ぶらう / 株式会社日建設計 北海道オフィス / 松尾ジンギスカン / 枝幸町 ※順不同

2023/02/20 No.62

# 世界 を変える。



## トクヤマの放熱材料

高度化した電子部品の熱を逃す。

性能を守る。

トクヤマの放熱材料は、

世界を変えています。

[www.tokuyama.co.jp](http://www.tokuyama.co.jp)

もっと未来の人のために TOKUYAMA 

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。3年ぶりの新年交礼会となりましたので、本来であれば賑やかに開催したいところですが、まだ新型コロナウイルスの感染が収まっていない状況ですので、本日はオンラインとリアルでの併用で実施させていただいております。

本日の報道によれば、岸田首相より感染症法上の新型コロナウイルスの分類を「2類」から「5類」に移行する指示が出たとのことなので、いよいよ今年の春にはさまざまな制限が緩和されるだろうと思われまします。2019年を最後に中止していた北大ジンパを始め、東京同窓会がこれまで行っていたさまざまな行事をリアルで開催していきたいと強く期待しているところでございます。



横田 浩氏 (S60経)

東京同窓会会長

年頭のあいさつ (抜粋)

さて、寶金総長が掲げられている「比類なき大学」というスローガンのもと、母校には今後ますます躍進していただきたいと思っております。昨年北大は、大学のSDGsの活動を評価したランキング「THEインパクトランキング」で世界10位、国内1位という大変高い評価をいただいています。そうした大学の素晴らしい取り組みを通して、有為な学生が全国から北海道大学を目指し、そして世界に羽ばたいていくでしょうし、また、海外の優秀な学生が北海道大学に集まってくる機会が増えていくでしょう。北海道大学が一層世界に開かれた大学となるように発展することを強く願っておりますし、東京同窓会としてもできるだけバックアップしていきたいと考えております。

国内外の情勢を鑑みれば、2023年も厳しい年になるだろうと思われまします。同窓会の皆さまの益々のご健勝とご健康を祈念いたします。

明けましておめでとうございます。里帰りした気持ちで新年交礼会に参加させていただいております。お招きいただきありがとうございます。

校友会エルムは2016年6月に設立して、昨年丸6年を迎えました。校友会の会員は、地域同窓会や学部同窓会など既存の同窓会の方が大半で、新入生が校友会に入会する割合は約3割弱という状況です。会員を拡大していくためにも、学生に対して校友会に入会するメリットを一層拡充することが課題であると考えています。企業からの協賛による企業研究



杉江 和男氏 (S45工院)

校友会エルム会長

セミナーを開催し、学生向けに企業を紹介するサービスを提供していますが、コロナ禍によってオンライン方式による開催が変わってからは、以前は750社ほどが企業研究セミナーに参加していましたが、今年は約260社でした。そのため企業からの協賛収入が激減し、フロンティア基金への寄付も減っています。そうした財源の点でも、外部からの資金に頼らず、自分たちの力で校友会を運営し、大学支援の強化に貢献していきたいと考えております。

寶金先生が総長に就任されてから大学改革が大きく進んでいます。経営協議会などの会議はこれまで、事務的な報告を聞くことに終始していましたが、今は活発な意見交換や議論が交わされるようになっています。また、総長自らが学内外に積極的に足を運び、直接コミュニケーション作りにも努力されています。

世界トップクラスの大学を目指す取り組みは、大学だけでは限りがありますので、わたしたち卒業生が大学を支援することが必要です。これまで以上に産学連携を推し進めるよう同窓会の支援をお願いいたします。



日時：2023年1月20日 18時30分  
場所：明治屋ホール(京橋)&オンライン〔併用式〕

三々七拍子/石川裕一副会長(S54法)



挨拶に続き乾杯  
横田浩東京同窓会会長(S60経)



ご挨拶 寶金清博北大総長



ご挨拶  
杉江和男校友会エルム会長(S45工院)

2019年1月以来、4年ぶりの新年交礼会が2023年1月20日、京橋の明治屋ホールで開催されました。

昨年12月の第2回理事会(オンライン開催)では開催決定に至らなかったのですが、改めて総務委員会でご検討し、「会長、副会長、理事、監事、総務委員のみのリアル参加(30名程度)」「会員・準会員はオンラインによる参加」とするハイブリット方式での開催を決め、会員へはメルマガでお知らせしておりました。

当日、会場進行は松浦総務委員長、オンライン進行は大野副委員長が担当し、寶金北大総



ZOOMからの参加者



「都ぞ弥生」ビデオ放映

長にはオンラインでご参加いただきました。式次第は次の通りです。

①横田東京同窓会会長の新年挨拶と乾杯、②寶金北大総長からの新年ご挨拶、③校友会エルム杉江会長からの挨拶、④都ぞ弥生(ビデオ放映) ⑤石川裕一副会長による三々七拍子

なお、会場の席は間隔を空け、乾杯は1杯のみ、30分程度で散会となるよう、感染対策には十分配慮して執り行われました。会場には23名、オンラインでは41名が参加しました。(総務委員会)

文系4部局合同企画として、同窓生・教職員・学生・市民を対象とした公開講演（オンライン）を開催しました。今年は、今年度開催部局の法学部による企画とし、オンライン（WebexWebinars）



小名木明宏法学研究科長



櫻庭誠二氏

9月24日（土）14時～16時  
オンライン開催（Webex Webinars）  
参加者25名

**部局・同窓会主催行事**  
文学部・教育学部・法学部・経済学部

で開催し、参加者は25名でした。講師の月形樺戸博物館名誉館長 櫻庭誠二氏による講演があり、有意義な公開講演となりました。講師 櫻庭誠二氏 月形樺戸博物館名誉館長  
司会 小名木明宏 法学研究科長



数土文夫氏



鈴木所長



応援団のステージ

戸カレッジ生の2名から活動報告が行われ、北海道大学第111代応援団による歓迎のステージとして、校歌「永遠の幸」と応援歌「環珞みがく」の2曲が披露されました。ファイナルは、「都ぞ弥生」の弦楽四重奏に乗せての特別動画で締め括りました。本動画は大学文書

館所蔵の懐かしい写真と郷愁を誘うメロディーから始まり、途中から曲調がアップテンポになると、札幌キャンパスの四季折々の風景が映し出されるもので、会場にお越しいただいた参加者並びにオンラインでの視聴者の皆様には、本学の姿を感じて頂けたことと思います。

HOKKAIDO UNIVERSITY  
HOME COMING  
DAY 2022  
Be ambitious again!

# 北海道大学 ホームカミングデー 2022

第11回 ホームカミングデーを終えて 北海道大学社会共創部広報課

9月22日（木）から25日（日）の4日間、「北海道大学ホームカミングデー2022」を開催しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、オンラインによるライブストリーミング配信を主体にオンデマンド配信も組み合わせた内容にて執り行われましたが、11回目の開催となる今年度のホームカミングデーは、昨年度のアンケート回答で、コロナ禍が落ち着いた場合でもオンライン方式での開催を望む意見が複数あったことから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、初の試みとなる集客開催とオンラインによる動画配信も行うハイブリッド方式で開催しました。

全学行事のほか、各部局・同窓会が主催する様々な行事が行われ、全体で延べ1527人が参加されました。久しぶりの対面開催ということもあり、参加者は各々楽しいひとときを過ごされたと思われまます。

なお、次回、第12回のホームカミングデーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等にもよりますが、引き続きハイブリッド方式での開催を予定しています。（社会共創部広報課 卒業生・基金室）

**全学行事**

**社会共創部広報課卒業生・基金室**

**歓迎式典・記念講演会**

9月24日（土）10時～11時55分  
学術交流会館講堂  
集客101名、ライブ配信視聴者170名

ホームカミングデーの全学行事として「歓迎式典・記念講演会」を集客開催とオンラインのハイブリッド形式で行いました。会場となった学術交流会館講堂では、寶金清博館長をはじめ、出演者が参加するなか、北海道大学交響楽団の弦楽四重奏によるアレクサンデル・ポロディン作曲「弦楽四重奏曲第2番ニ長調より第一楽章」の演奏で式典の幕を開けました。

司会は本学経済学部の卒業生であるHBC北海道放送の船越ゆかり氏が務め、初めに寶金館長から、本学の第4期中期目標期間における6つのビジョンの一つとし



寶金館長



江会長

て掲げている「繋がる・広がる、連携の北大」について報告があり、2026年に迎える創基150周年に向けて、ホームカミングデーは特別な意味を持つものであるとの説明がありました。次に、杉江和男校友会エルム会長から、「望まれる、誰もがリーダーシップを持つ、人材育成を」と題し、組織の経営で重要な「変化」「価値」「リーダーシップ」「ガバナンス」についてお話を頂戴しました。本年8月に北海道大学栄誉賞を受賞されたご来賓の數土文夫氏からは、経済界から見た大学教育の課題等についてお話を頂戴しました。

また、本学の理事、監事及びホームカミングデー担当の副学長の紹介も行われました。

続いて、本年4月に北海道大学テイティングイッシュトプロフェッサーの称号を授与された人獣共通感染症国際共同研究所の鈴木定彦所長による記念講演会では、「結核―新型コロナウイルス感染症の影に隠れた人類の脅威―」と題された人類の脅威―と題し、世界並びに我が国の結核感染状況、結核制圧に向けた取り組み等について説明されました。その後、「学生による活動報告」と題し、新渡

**文学部同窓会**

**文学部同窓会総会**

9月24日（土）13時～14時  
対面・Zoomによるハイフレックス開催  
参加者14名

文学部同窓会では、例年通り北大ホームカミングデー2022当日、9月24日（土）13時～14時に、人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）6番教室にて、第23回同窓会総会を開催いたしました。今年度も、昨年に引き続き、対面とZoomによるハイフレックス開催といたしました。今年度は、ホームカミングデー2022関連の記事を掲載した同窓会誌「楡文」第23号の発刊が遅れてしまいました。同窓会ホームページでの公告やEメールによる個別のお知らせを行ないました。その甲斐あってか、例年にはあまり見られない、一般会員の方々による総会へのご出席をたまわることができました。ごく少人数とはいえ、役員以外の会員の方々が7名も（一）総会にご参加くださったことは、望外の喜びでした。コロナ禍によりやむなく始めたハイフレックス開催ですが、こちらの方が、遠方の会員の方々は、気軽にご参加いただける方途となったのかもしれない。更新が滞っていた同窓会ホームページ

（<https://sites.google.com/view/eyubun/home?authuser=1>）も、新たな担当者をえて徐々に動き始めましたので、今後は、様々なツールを駆使して、会員の皆様の同窓会活動へのいっそうの積極的ご参加を促していきたいと考えております。

**教育学部同窓会**

**総会**

9月24日（土）16時30分～17時30分  
文系共同講義棟（軍艦講堂）1番教室  
参加者18名

教育学部では、9月24日（土）16時30分から17時30分に教育学部同窓会を開催しました。総会は佐々木孝一幹事長代行の司会により進行され、竹田正直会長の挨拶、横井敏郎教育学部部長の挨拶の後、宮崎隆志議長の進行により、次の議案について審議し、全会一致で承認されました。

- 1 2021年度会務報告
- 2 2021年度会計報告
- 3 監査報告
- 4 2022年度事業計画
- 5 2022年度予算案
- 6 会則の改正
- 7 役員改選

なお、今年度の教育学部同窓会では、新型コロナウイルス感染症がまだ心配される中、久しぶりの対面開催でしたが、18名の参加者があり盛況の内に終りました。

法学部同窓会

法学部同窓会2022年度  
定時総会

9月24日(土) 17時~18時  
ホテルマイステイズ札幌アスペン  
会議室エルクム 参加者10名

佐々木亮子同窓会長の開  
会挨拶後、次の議案につい  
て審議し、全会一致で承認  
されました。

1 2021年度事業報告  
書(案)、同収支決算報告  
書(案)

2 2022年度事業計画  
(案)、同収支予算(案)

3 役員の一部改選(案)

また、席上、次の事項について、  
報告がなされました。

1 2021年度において、北大  
法学部同窓会賞が設営され、第1  
回の受賞者に個人の部で2名、団  
体の部で1サークルが選考決定さ  
れ、2022年3月24日の令和3  
年度学士學位記授与式当日、第1  
回北大法学部同窓会賞の授賞式が  
挙行されたこと。

2 2021年度の定時総会実施  
日である2021年9月24日に発  
刊した「2021年版北大法学部  
同窓会員名簿」の収支顛末につい  
て

議事終了後、佐々木同窓会長の  
司会進行の下、参加者による今後



白土博樹氏



上山博康氏

した。本学医学研究院医理工学グロ  
バルセンターの白土博樹教授(医学  
部第57期)から「がんの放射線治療  
―北大から世界へ―」と題した講演  
が行われ、札幌医科大学病院脳疾患研

大学院保健科学研究院

大学院保健科学研究院  
ホームカミングデー2022

9月24日(土) 13時30分~16時  
対面Zoomによるハイブリッド開催  
参加者35名

今年度は会場での実施のほか  
ZoomによるWebでの実施  
のハイブリッド開催となり、総  
勢35名の方々にご参加頂きました。



矢野研究院長職務代理



井野拓実氏



高山望氏

の同窓会運営や同窓会活動に関わ  
る提言・提案等を主眼とする意見  
交換会が実施され、活発な論議が  
なされました。



佐々木同窓会長

なお、定時総会終  
了後に同所で開催  
予定であった法学  
部同窓会主催講演  
会及び会員懇親会  
は、引続くコロナ感  
染拡大状況を踏ま  
え、9月初旬中止す  
ることとされてしま  
した。

経済学部同窓会

経済学部同窓会2022年度総会

9月24日(土) 16時30分~17時30分  
経済学部研究棟301  
参加者19名

経済学部同窓会2022年度総  
会が文系4部局合同シンポジウム  
終了後、経済学部研究棟301で  
開催されました(オンラインで同  
時配信)。

出席者は会場に17名、オンライ  
ンで2名の合計19名が参加し、会  
長代理の岩本栄一副会長が議事進  
行をおこない、昨年度の事業報  
告、決算報告、今年度の事業計画、  
規約の変更、役員選任(会長に板  
谷淳一氏(昭53卒))などが審議  
され、了承されました。久しぶり

の対面ということで活発な質疑応  
答及び、新役員の挨拶があり、1  
時間あまりで会は終了しました。

理学研究院・理学院・理学部

理学部ホームカミングデー

9月24日(土) 13時30分~15時30分  
Zoomによるオンライン開催  
参加者69名

今年度の理学部ホームカミング  
デーは昨年同様Zoomによるオ  
ンライン形式で開催しました。



太田泰彦氏



参加者による記念撮影

当日は、網塚浩理学部長と見延  
庄士郎理学部同窓会理事長からの  
挨拶を皮切りに、各学科から現在  
の研究活動・トピック等について  
近況報告を行いました。

続いて、昨年度から実施してい  
る2030年に創立100周年を  
迎える理学部の記念企画「第2回  
理学部創立100周年カウンタダ  
ウン講演会」を開催し、理学部化  
学科OBである日本経済新聞編集  
委員の太田泰彦氏を演者に迎え  
「地政学で見る世界 北大理学部  
で学んだこと」と題し、在学  
時の学びや経験について語つ  
ていただくと共に現在の取材  
対象である半導体を巡る国際  
情勢等について解説いただき  
ました。講演後の質疑応答で  
は予定時刻を超え活発な質問  
が寄せられるなど盛況の内に  
終了しました。

医学研究院・医学院・医学部

医学部ホームカミングデー  
フラテ祭2022

9月24日(金) 13時~15時30分  
Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)  
参加者82名

医学部では、同窓生をはじめとす  
る関係者の皆様との親睦をさらに深  
める目的で「フラテ祭」を開催して  
おり、15回目の今年度は9月24日(土)  
にオンラインにて開催しました。

中、東京オリンピック・北京オリ  
ンピックにチームJAPANと  
してどのように参加したか、チー  
ムとして本学の基本理念がまさ  
に世界の舞台で必要であったと  
実感したことなど、ご自身の経  
験を中心に講演いただきました。

続いて、高山望氏(訪問看護ス  
テーションいっぽにほさんぽ・  
所長)に、「いのちとくらしを支  
える在宅医療」起業の道のりと  
訪問看護の魅力!」と題し、  
起業を選択した理由や道のり、  
訪問介護の重要性など、大変わ  
かりやすく講演頂きました。

初の対面・Zoomによるハイ  
ブリッド開催でしたが、盛況の内  
に終わることができました。

歯学研究院・歯学院・歯学部

未来に向けた北大歯学部の  
歯科臨床・教育・研究

9月24日(土) 15時~17時  
オンライン 参加者32名

歯学研究院・歯学院・歯学部で  
は、「未来に向けた北  
大歯学部の歯科臨床・  
教育・研究」をテーマとし、  
教員や学生による最新  
の臨床や研究、学生生  
活の現状等に関する講  
演会を企画しました。



網塚研究院長



菅谷教授の講演



大巻さんの講演

れた講演会では、初めに網塚憲生  
研究院長・学院長・学部長が歓迎  
の挨拶を述べた後、歯学研究院等  
の現況報告を行いました。

引き続き、本研究院の菅谷勉教  
授、大廣洋一教授から、歯科医療  
と研究の最新トピックスや教室運  
営について講演が行われました。

また、本郷裕美助教、歯学部5年  
の大巻真幸さんからは、それぞ  
れの立場から見たコロナ禍におけ  
る歯学教育や学生生活の現状につ  
いて報告がありました。

各講演は、臨床・教育・研究の  
いずれの分野においても、様々な  
創意工夫により  
りコロナ禍を  
超えて次なる  
局面を迎えて  
いることが強  
く感じられる  
内容であり、  
参加者は熱心  
に聞き入って  
おりました。

薬学研究院・薬学部

第23回生涯教育特別講座秋季講演会

9月24日(土) 14時～16時  
対面・オンラインによるハイブリッド方式  
参加者100名

薬学部生涯教育特別講座は、北大薬学部同窓生を含む医療関係及び関連領域の仕事に従事される方を対象に、医療における諸問題について最新の情報を提供することを目的として実施されています。

令和4年9月24日(土)、薬学部臨床薬学講義室においてオンラインとのハイブリッドで秋季講演会が開催され、薬局や病院などの薬剤師の方々はじめ、薬学部学生や教員等103名が参加しました。



小林教授 石川助教

続いて薬学研究院臨床薬理学研究室所属、臨床薬学教育センターのセンター長である小林正紀教授に「臨床現場との連携による「Translational Research・Reverse Translational Research」のタイトルで、臨床現場での業務経験を踏まえて、日常業務から生まれるクリニカルクエスチョンを臨床研究へと展開していく流れについて、連携をキーワードに、ご自身の研究室で実施している臨床研究の実例を交えながらご講演いただきました。聴講者からは多岐にわたる質問が寄せられ、先生方は一つ一つ丁寧に回答くださいました。「薬剤師が関与する研究の重要性と基礎研究の展開方法について詳細を学ぶことができました」「臨床と基礎を行き来する薬学研究を紹介いただき、力をもらいました」など数多くの感想が寄せられました。

薬学部と同窓会の近況報告会

9月24日(土) 16時～17時  
対面・オンラインによるハイブリッド方式  
参加者40名

ホームカミングデー2022の開催にあわせて、薬学部と同窓会の近況報告会を行いました。本会

情報科学研究院・情報科学院

北楡会・北海道大学情報系交流会

9月23日(土) 13時30分～17時30分  
対面とオンラインによるハイブリッド開催  
参加者96名

情報科学研究院の前身となる情報科学研究科並びに電気・電子・情報・生体工学系の各専攻・学科の同窓生で組織される北楡会と、情報科学研究院の学生・教員との交流会を、本年度はオンラインと対面のハイブリッド形式で実施しました。プログラムは文末のとおりです。

長谷山美紀学院長並びに伊藤明男北楡会会長からの挨拶に続き、長谷山学院長、及び西日本電信電話株式会社代表取締役社長 森林正彰様よりご講演を頂きました(その様子をオンライン参加の同窓生に向けてライブ配信)。続けて、学生によるポスター発表会を行いました。ポスター発表の件数は21件、発表を行った学生数は41名です。対面での発



ポスター展示の様子 長谷山情報科学研究院院長 伊藤北楡会会長

表に加えて、オンラインでご参加の同窓生と学生が交流を持つための仮想談話室を設けたこともあり、同窓生の皆様から活発な質問と学生への激励のお言葉を頂きました。

意見交換会では伊藤会長より、情報科学研究院と企業との産学連携推進について話題提供があり、若手研究者と学生を巻き込んだ産学連携の進めかたについて活発な意見交換がされました。

【プログラム】  
・開会挨拶  
情報科学院長 長谷山美紀教授  
北楡会会長 伊藤明男様  
・講演

「第4期中期目標期間における情報科学研究院の研究計画」(長谷山美紀教授)  
「ICTで、新たな挑戦」(西日本発グループ「バルヘ」(森林正彰様))  
・研究発表会(学生によるショートプレゼンテーションとポスター発表)  
・意見交換会



木原薬学部長の講演



松田同窓会会長の講演

には、同窓生を含む40名の方が参加頂き、木原章雄薬学部長から現在の薬学部の状況について、松田彰同窓会会長から同窓会の運営状況

工学院・工学研究院・工学部

同窓生向け講演会

及び北工会サークル展示

同窓生向け講演会

9月24日(土) 13時30分～15時  
対面とオンラインによるハイブリッド開催  
参加者83名

工学部アカデミックラウンジ1において、工学部の同窓生を対象にした講演会を行いました。

はじめに、瀬戸口剛工学研究院院長・工学部長が歓迎の挨拶を述べた後、工学研究院及び工学部の現状報告を行いました。

続いて、五十嵐敏文旭川工業高等専門学校校長から「地図に残らない仕事」北海道新幹線建設に



瀬戸口研究院長 五十嵐先生

北工会サークル展示

9月24日(土) 8時～17時 工学部正面玄関ホール

工学部正面玄関において、北工会(工学部の教職員・学生等の親睦団体)の公認サークルによる作品(書道、写真)を展示しました。ホームカミングデー来訪者の方々も、足を止めて作品に見入っていました。

農学研究院・農学院・農学部

市民公開講座「新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」

9月23日(金) 13時～14時30分  
対面とオンラインによるハイブリッド開催  
参加者219名

本特別講演会は、明治31年発足の札幌農林学会が開催してきた学術講演会の中の特別講演会を継承・発展させてきたものであり121年の歴史を持ちます。平成



講演会



西邑研究院長



横田理事・副学長

9年以来、市民公開・農学特別講演会として、広く一般市民の方々に公開しています。本年は「新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」と題し、農学研究院・農学院・農学部、札幌農林学会、および札幌農学同窓会による主催、北方生物圏フィールド科学センター共催、北海道大学サステイナビリティ推進機構協力、北海道、札幌市など26団体のご後援をいただき

ました。加えて100年以上前からSDGs(持続可能な開発目標)に繋がる先見性・先進性を持つ持続可能な社会構築に貢献してきたことが解説されました。講演会は同窓生以外にも一般市民の方やオンライン参加者を含め200名以上の方にご参加いただき、会場も満席となりました。フロアからの質問も出るなど、大変盛況となりました。

獣医学部

獣医学部同窓会（同窓会総会、同窓生と在学生の交流フォーラム）

9月24日（土）11時～16時45分  
対面とオンラインライブストリーミング配信によるハイブリッド開催  
参加者86名

令和4年度獣医学部同窓会関連諸会議（評議員会、通常総会、新評議員会、新理事会）を、11時よりオンライン（獣医学部会議室および講堂）とWebex Meetingsを用いたオンライン・ライブストリーミング配信を併用したハイブリッドで開催しました。評議員会では議長に菅野一敏氏（昭和52年卒）が指名され、総会議案の確認と承認が行われました。総会は13時より開かれ、会議に先立ち、逝去会員に対して黙とうを捧げました。滝口満喜会長（昭和62年卒）の挨拶に引き続き、議長に佐藤時則氏（昭和49年卒）、副議長に岡松優子氏（平成16年卒）、理事録署名人に金尚昊氏（平成23年卒）が指名され、各議案が審議され、評議員が選出されました。その後



評議員会の会議風景



フォーラム終了後の集合写真

新評議員会にて理事・監事が選出され、総会で承認されました。その後新理事会が開催されました。

14時30分より北海道大学獣医学部同窓会フォーラムをハイブリッド開催しました。今年は「アラ還同窓生から現役学生へのメッセージ」と題し、現役入学生が今年還暦を迎える昭和60年卒の同窓生7人から現役学生に向けて、これまでに培った人生観や人生哲学をもとに現役学生へ叱咤激励の言葉をかけていただきました。同窓生と在学生で活発な質疑応答が行われ、有意義な交流会となりました。

水産科学研究院・水産科学院・水産学部/北水同窓会

ホームカミングデー2022  
水産学部卒業生・在校生のつどい

9月24日（土）13時30分～17時  
函館キャンパス講義棟大講義室  
参加者90名

今年のホームカミングデー2022は、9月24日（土）に函館キャンパス大講義室において対面で開催されました。

まず始めに都木靖彰学部長による本学部練習船うしお丸代船の建造状況、地域交流機能を統合した「水産科学未来人材育成館」の建築が開始されたことなどが述べられました。



講演をする池谷氏

「環境科学院」「国際広報メディア・観光学院」「北方生物圏フィールド科学センター」「アドミッションセンター」「大文学書館」「ほっかいどう同窓会」「恵迪寮同窓会」「産学地域協働推進機構」「社会共創部広報課」「社会共創部広報課卒業生・基金室」については誌面スペースの都合で割愛させていただきます。北大時報10月号をご覧ください。

次に、本学部卒業生の池谷幸樹氏（アクア・トトギス館長）に「水族館に勤めて50代で思うこと」と題してご講演いただきました。講演内容は、製薬会社の医療情報担当者として就職後、水族館を運営する企業に転職し、アクア・トトギスのオープンングから関わった経歴を披露いただきました。現在、同水族館は水生生物の展示だけでなく、魚類の不思議な生態の研究や保全に貢献していること、これらの成果に

風景との対話

3年ぶりの東京黒百合展

木綿弘子（S53・薬）

一昨年度はコロナ禍で中止になっていた東京黒百合展が昨年、3年振りに開催されました。幸いコロナも減少し、気持ちのいい秋晴れの中、銀座の画廊で懐かしい人達と顔を合わせる事ができました。

絵は描いて、発表して、人に見てもらって完成とよく言われますが、今回ほど発表することの大切さを実感したことはありません。広い会場でみると、自分の絵の良し悪しは一目瞭然。自己満足に浸っているわけには

いきません。

絵を描く事は独りで黙々とする作業なので、うつつのひまつぶし（？）です。でも仲間があったこと、その楽しみは何倍にも膨らむのだと、再認識した次第です。

コロナ1年目はまだこんなに長く引くとは思わず、①「待つ」という絵を、2年目はなかなか収束しないやり場のない気持ちを②「何処へ」という絵にこめました。どちらも大切な青春の時間を、奪われた若い人に思いを馳せ、描きま

3年目には、ウ

クライナ戦争も激しさを増し、北朝鮮のミサイル発射など、不穏な社会情勢の中③「ヒロシマの春」を描きました。広島は私の生まれ故郷です。

一昨年、広島の人老人ホームに入居中の母（93才）に1才になる曾孫を見せに、これも3年振りに訪



作品③「ヒロシマの春」油彩

問しました。たった15分の面会時間でしたが、幼い曾孫を見た時の、母の満面の笑顔が忘れられません。

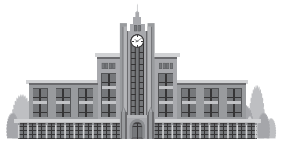
当たり前の事が当たり前でなくなるこの様な時代に遭遇しようとは思ってもありませんでした。しかし、今までも人類は何度かのパンデミックを乗り越え、戦争を経験し、その時代を生きてきたのだと思うと、命を繋いでいく事の大切さ、難しさをひしひしと感じます。穏やかな春が訪れますように。



作品①「待つ」油彩



作品②「何処へ」油彩



# 昭和中期の ある農化学生の 思い出

## —前編—



若林 高明  
(S35・農学部農芸化学科)

### ●戦時下を生き延びて

私は昭和20(1945)年3月、父の勤務先朝鮮総督府(日本国商工省より出向)の命令により、朝鮮京城市(現ソウル市)から京釜鉄道(一等車両)1\*、関釜連絡船2\*(一等船室・門司港下船後日本海側を国鉄三等車両で青森港へ)そして青函連絡船(一等船室)を乗り継ぎ祖父父母の住む本籍地函館市に帰国しました。そして小3・中学・高校を函館で過ごし、昭和31(1956)年4月、新制の北海道大学理類(教養11組)3\*に入學(第7代総長 杉野目晴貞)しました。

1067mm)、JR新幹線(標準軌:1435mm)、シベリア鉄道(広軌:1524mm)など。

2\*・関釜連絡船は朝鮮・釜山港を出港し本来下関港(外湾港)に入港するはずが、当夜博多港周辺が米海軍艦載機による空襲中の無電が入り、急遽灯火管制中の門司港(内湾港)に緊急入港した。緊急下船直後に艦載機(グラマン)多数が来襲し照明弾を落下して、連絡船目掛けて爆弾多数を投下した。しかし一弾も命中せずその腹癒せか、湾を反転して飛来し下船した船客が避難していたプラットホーム目掛けて20ミリ機関砲の機銃照射をした。多数が死傷したが私達家族は辛うじて生き延びました。

当時太平洋側の鉄道は、3月10日の東京大空襲等(米空軍B29爆撃機大編隊による焼夷弾・絨毯爆撃等による被災者約310万人、死者11万5千人以上、負傷者15万人以上、損害家屋約85万戸以上)

により各地で寸断の有り様でした。

3\*・昭和22(1947)年に北海道帝国大学が北海道大学となり、昭和24(1949)年に新制の北海道大学となる。

### ●教養課程時代の用心棒・生活

昭和30年代に入り戦後の食糧難(飢饉)時代から解放されるようになりました。その情勢もあり、当時の定山溪鉄道4\*の重役留守宅(元割烹料亭、ススキノ・南五条西五丁目)に「書生」として学生時代を過ごすことになりました。

書生の役割は夏季・薪ストーブ用の薪割り、冬季・母屋の雪降ろし、そして留守宅の用心棒役(飲楽街・酔客の民家侵入防止)でした。幸いにも書生となり食・住は確保できました。学業費の北大授業料は昭和31年度入学者年額9千円(卒業時まで同額)でした。それで日本育英会の奨学金を申請し教養時代は月額3千円を、学部

移行後は特別奨学金を申請して月額4千5百円を受給(全額返還義務)しました。これで授業に必要な教科書・参考書類を購入(古本屋を活用)出来ました。

北大理類教養課程2年生(昭和32(1957)年)後半の理系・学部移行では、第一志望の農学部農芸化学科2年生(35名)に編入できてとても嬉しく思い、その時札幌農学校の伝統に沿える学生になろうと決心し農学部学生となりました。

4\*・当時の定山溪鉄道は札幌市白石区東札幌駅から南区定山溪駅を結んでいた鉄道路線(27・2km)、昭和44(1969)年に廃止された

### ●農学部農芸化学科学生としての社会勉強

昭和33(1958)年晩秋我等農化3年生は、今年度の農化2年生(新入生・35名)を迎えるに当たり、「新入生歓迎会」を企画・

開催することになりました。晩秋の小春日和の土曜日午後、農学部本館4階・大講堂にて農化4年生(35名)にもご出席戴き、『村の行者と河童(カッパ)の集い』と題する寸劇をご披露しました。(左写真)

そこで、新入2年生を迎える歓迎会には茶菓子が必要と思い、当時喫茶店でクラシック音楽を聴きながら珈琲を飲むサラリーマンも増えてきていたので、「コーヒーとショートケーキ」を出そうと考え、当時国鉄札幌駅近くに在った

菓子店「三八」駅前店に出前をお願いしようと交渉に向いた。

予算は農化3年生(35名)と先輩4年生(35名)から一人50円を供出してもらい、総額3500円を原資に、新入2年生(35名)を加えた105名分(約35円/人)の「コーヒー&ケーキセット」の出前(農学部本館4階・大講堂)をお願いすることにした。

農化3年生の授業開きの夕刻、「三八」菓子店札幌駅前店に向向き、応対してくれた女子社員の主任さんには、全く採算に合わないのではと「ダメ」出しを喰った。

さて困ったので、それから3~4日後にまた授業開きに再度交渉に向くと、男性の駅前店長さんが応対してくれた。しかし、100人分のセット値引きを適用しても全く採算が合わないのではと再度「ダメ」出しの通告でした。

折角の新入生をGentlemanとして迎えるのに、茶菓子はやはり駄菓子ではなく、「コーヒー&ケーキセット」であるべきだとの思いで、ある土曜



農化3年生時の応用菌学顕微鏡実験室にて  
2列右側2人目が筆者(昭和33年6月)

引き受けましょう、と納得して戴きました。そしてら、あなたが希望するならば卒業後当社(現株式会社三八、三八菓舗5\*)に来ませんかとも勧誘され、吃驚するやら、感謝してお願ひすることに成りました。

その御蔭で「コーヒー&ケーキセット」付の新入生歓迎会は大いに盛り上がりました。

この農化3年生の時の経験、何事も諦めないで正論で折衝して相手の懐に飛び込む交渉術(説得するのではなく納得させること)の経験は、卒業後に企業ビジネスマン(就職先:エーザイ株式会社)として、国内外の同業他社企業との自社製品の取引(技術導出・導入)の折衝事に、大いに役立つことになりました。

しかし、令和の時代の北大卒業生が国際的に活躍する企業ビジネスマンを志すのであれば、国際水準のセキュリティ・クリアランスの認証保持者6\*にならなければならなくなるでしょう。

5\*・商品 札幌タイムズスクエア商品群 和菓子各種  
6\*・Security clearance 米 国・英国・独 国・カナダ等諸国では、重要な国家機密に類する技



昭和33(1958)年晩秋、新入生(農化2年生)歓迎会  
主催:農化3年生一同





術・情報に企業が参画する場合に、それに携わる職能に応じた適格性を確認する制度。行政機関の職員を対象とする秘密取扱者適格性確認制度などがこれに相当する。

●恒例の修学旅行

我等農化3年生は年度末までに、4年生時の卒業論文の実験・研究のため各人の志望する講座（研究室）を決めます。当時の農芸化学科は5講座（土壌肥料学講座、農産製造学講座、食品化学講座、生物化学講座、応用菌学講座）で、それぞれの講座に教授・助



農化3年生学期末修学旅行(昭和34年3月末)  
東京大学医科学研究所微生物工学教室訪問、中央筆者

進められており、北海道農務部が北大農化への委託事業として行っていました。開拓地の採取土壌分析試験の技法は、学部移行後の2年生後期に教科書・実験農芸化学上・下巻へ東京大学農学部農芸化学教室編 朝倉書店 昭和32(1957)年版による実習・実験授業により技能習得を修了して居りました。

教授・助手の先生方が居られました。その為に昭和34(1959)年の春休みを利用して、他大学や農林省の付属研究機関、先輩就職先民間企業の研究所&工場等へ、一同揃っての恒例の訪問・見学ツアーへ修学旅行35名、引率者は広瀬晃先生(当時院生、昭和36年農学博士)に出発しました。

この訪問・見学ツアーのための各人の旅行費用は、3年生時の夏休み約60日間に亙り行われる北海道奥地開拓地の土壌調査(分析試験)のアルバイト代により捻出されて来ました。昭和30(1955)年代当時は北海道奥地の開拓農家の土壌の調査分析が毎年度

進められており、北海道農務部が北大農化への委託事業として行っていました。開拓地の採取土壌分析試験の技法は、学部移行後の2年生後期に教科書・実験農芸化学上・下巻へ東京大学農学部農芸化学教室編 朝倉書店 昭和32(1957)年版による実習・実験授業により技能習得を修了して居りました。

● 恩師の日本学士院賞 受賞に感激

ところが、私が籤引係であったにも拘わらず土壌調査の応募抽選に落選してしまいました。これでは3年生学期末恒例の修学旅行(就職候補先訪問・調査旅行)に参加出来なくなる事(旅行費用等)を危惧した。そこで土壌肥料学講座の石塚喜明教授にお頼みして同教室(田中明助手、企業派遣研究員、大学院生等)の実験お手伝い)のアルバイトをさせて戴くことになりました。

私のアルバイトの仕事は、毎日午前中に農芸化学科棟の北側にあったガラス張りの温室2棟内の清掃・掃除を素早く済ませます。そして同温室内の約80鉢近くの「稲の水耕栽培培養鉢実験群」の植木鉢(瀬戸物) 記号順に、数種類の実験用液肥の各調合と、その新規調合液肥の交換(前日分との)作業を行いました。午後からは同教室の先輩皆様からの指示による検体資料分析試験のお手伝いです。これにより農芸化学的機器分析技法・技能の腕を磨くことが出来ました。この様にして、農化

3年生の夏休みの約60日間のアルバイトにより、翌年の昭和34(1959)年春休みの修学旅行に参加することが出来ました。後年(昭和50(1975)年)、日本学士院は「水稻の栄養生理学的研究とその応用(共同研究)」に対して、石塚喜明北大名誉教授(農学博士)と田中明農学部教授(農学博士)に日本学士院賞を授与しました。この朗報をニュースで知った時、農化学生時代のアルバイトの事を思い出し、少しはお手伝いのお役に立てたのかなど、とても嬉しい気分になりました。

● 卒業論文の開始

農芸化学科4年時の卒業論文作成は戦後のある時期から中断されていたが、私達4年時から開始されることに成りました。農化35名はそれぞれ志望する5講座(研究室)に移行しました。私は食品の製造加工(製造現場)にも興味があったので、農産製造学講座(教授・小幡彌太郎7\*)を選びました。

我等農化35名の卒業論文テーマが出揃い、各人が参考文献の検索や参考資料の収集で農学部図書室は連日大賑わいでした。何時しか、各人それぞれ移行した講座(研究室)での実験室に籠り、土曜日午後にも実験に明け暮れました。

この間、就職希望企業・団体への受験は4年生時の7月度から開始されて居りました。そして食糧事情や衣類・住居事情(独身寮)も回復して来ており、就職状況も明るい兆しが見え始めて来ました。その御蔭でS35(1960)年3月農化卒の35名全員が就職先を確保することが出来ました。各人の卒業論文に関係する参考文献(英語文、ドイツ語文)を発表するゼミナールは、昭和34(1959)年5月度から早速に開始され、卒業年の昭和35(1960)年1月度で終えた。私の発表は、Enzymatic Cleavage of S-Adenosylmethionine (J.Biol.Chem.234.87.1959)でした。卒論も脱脂大豆粕(蛋白)を加水分解してイオン交換樹脂法および吸着クロマトグラフ法を駆使してのイソロイシンやメチオニン関連を分離する分析研究でした。指導教官は水谷純也先生(当時院生、昭和35年農学博士、農学部教授)でした。何事も辛抱強く、目的に沿って実験を遂行する研究者魂を植え付けて戴きました。

年頃からの飼料添加用アミノ酸(メチオニン、リジン等)の需要増大の予兆もが窺えられました。7\*・生物化学通論 農学博士 小幡彌太郎著 朝倉書店 昭和32(1957)年

● 北大卒業と「さんご会」誕生

私達北大生の卒業式は昭和35(1960)年3月、クラーク像の傍に在ったクラーク会館にて行われました。卒業式典での国歌(君が代) 斉唱場面等を、NHK札幌支局の撮影クルーが録画して、当日の正午と午後7時のニュースで全道に放映され記念すべき卒業式となりました。私達S35農化生は卒業式後卒業証書を受け取り、農芸化学科棟(農学部本部右側棟)を出る時、20年後に農化棟での再会を約束して社会へと飛翔しました。

それから何時しか、我等農化同級生の会を「北大」さんご会」と呼称するようになりました。そして卒業20年目の昭和55(1980)年に札幌に集まり、卒業年度の主任教授で在られた石塚喜明(名誉)教授を囲んでの第1回「さんご会」を開催しました。それ以降5年毎に、農芸化学科棟訪問と北大園遊会(植物園)に参加して来ました。

【次号後編に続く】



【北大さんご会】札幌支部会に参加して、中央筆者(2017.05)



クラーク像前にて(2017.05)



札幌遠友夜学校跡地にて(2017.05)



大通公園・S35農化黒澤誠治君と筆者(右)(2017.05)



# 原点を学んだ北大ボート部

## 実家は下町の玩具問屋

生まれはかつて花街で知られた墨田区東向島で、家の近所には名の知れた料亭がいくつもありません。父の会社の隣が置屋さんだったので、幼い時によく芸子さんに抱っこされていた記憶があります。父親は玩具問屋を営み、小学生の頃から従業員の賄い用の食材を買いに行かされたり、棚卸とか簡単な経理を母と一緒にやったりなど実家の手伝いをしていました。幼い時の写真は芸子さんとのものが多く、子どもと写真を撮る暇がないほどに両親はいつも忙しく働いていました。



東京の下町で育った幼少期 (本人は右)

とはいえ自分の家だけがそう

## 遠く離れた北大へ

北海道との接点は、中高の頃に三浦綾子の「氷点」シリーズを読んでいたことや、当時ブームだったオールナイトニッポンの中島みゆきや松山千春の深夜放送です。それらの影響で北海道にいいイメージを持っていました。大学



三井化学株式会社  
代表取締役社長  
橋本修さん  
(S62法)

進学した都立墨田川高校は葛飾・江戸川・墨田などの下町の学区でしたので、いわゆる悪ガキの連中が多く、当時の写真は家族に見せられないものばかり。だぶだぶの学生ズボン、頭髪は剃り込み。時代の流行りだと思えますが、すごい高校時代を過ごしたと思います。

## ボート部に入部

中学・高校でバスケットとラグビーをしていましたが、家の事情などで途中でやめていたので、大

離スキーなどを行い、札幌国際スキーマラソンの50km競技にも毎年出場していました。

## 新しいヘッドコーチ

どんなに厳しい練習を行っていても全国レベルの結果を残せない



大学4年の時に初めて決勝に進出、見事全国5位に輝く(本人は左から5人目)

い、と感じ始めていた1年目の終わりの頃に、東北大ボート部出身で北大病院に赴任された小原先生がヘッドコーチとしてやってきました。東北大のボート部は歴史も実績もある強豪校で、小原コーチは東北大全盛期のメンバーでした。

とつつきにくく、正論ばかり言っているなと思っていました。が、すべて理にかなっていません。全く反論できず、それまでの練習はがらっと変わりました。端的に言えば、練習にデータと分析を取り入れ、選手の艇への貢献度を数値化するやり方を取り入れたのです。筋肉部位の体力測定や身体測定、ボート漕ぎの適性を見る筋肉組成の比較なども行いました。食事内容も筋肉づくりをするために必要な栄養を摂るメニューに代わり、1日6000カロリーの摂取が決められました。それだけのカロリーを摂取しないとやりきれない練習量でした。

日本一になるという掛け声や根性論ではなく、論理的に目標にアプローチするやり方に部内の雰囲気は変わりました。従来行ってきた練習をこなす状況から、各自が数値を意識し練習に取り組む状態にレベルアップできたことは、言葉は悪いですが、子どもだった部員が大人の思考をして練習に臨む

ようになった変革でした。多方面での科学的なアプローチも印象に残っています。我々より一回りも大きいドイツのナシヨナルチームを手本にするのではなく、自分たちの体格に近いカナダの女子チームを手本にすべきと、彼女たちのボート技術や体力作りの指導書を紹介した英文の指導書を読んで学びました。さらに栄養学やリンパマッサージなど筋肉疲労を回復する施術法、メンタルケアの仕方なども勉強しました。

今思えば、小原コーチはトップクラスの漕艇技術に、精神科医としてのメンタルコントロールを加味して我々をコーチングしたのだと思います。4年目で副将として部の運営やマネジメントをするようになり、小原コーチのやり方・考え方を吸収できたことは大きな収穫でした。客観的な数値が優先されることになるので、評価はシビアで選手間の競争は厳しくなりましたが、トータルでチーム力が底上げされ、明らかに実力も実績もつきました。4年目の全日本選手権軽量級では準優勝し、インカレ軽量級では決勝に進みました。結果は5位でしたが、200艇が出場する中で日本一を競うレベルに達したことは4年間の苦労が実った証でした。



工場勤務での学び

就職先は、業界トップの会社よりも1番を目指す会社で働きたいと考えていました。ある総合商社に行くつもりでしたが、三井石油化学（現・三井化学）の採用担当者の方に魅力を感じ、今の会社に入社することを決めました。当時はまだ第2次オイルショックの雰囲気残り、石油業界の将来は不安視されていました。パブルが始まる頃でしたので、銀行などの金融業界の人気の高き、両親からも「何で石油の会社？」と言われました。



入社当時、兼務で研究所にも勤務

最初の勤務先は市原工場（千葉）の人事でした。メインは労務の担当でしたが、組合対応や労務管理、福利厚生、従業員バスのダ

イヤ編成、地域の文化祭では着ぐるみに入ったり、社員運動会では白線引きなど何でもやりました。何でこんなことやっているのだろう？と思うこともありましたが、目の前のいろいろな仕事をやらせてもらって楽しかったです。

入社して分かったことですがメーカーは社会の縮図です。会社には、専門の技術研究者から機械オペレーター、管理業務などさまざまなバックグラウンドの人がいて、しかも工場勤務で直に広く関わりを持つことができたのは、いい経験だったと思います。それはメーカーの大きな魅力ですし、その意味でもメーカーに入社してよかったと思います。

通常の工場での仕事のほかに、入社してから数年、新卒リクルーターの仕事も手伝っていました。入社を決意した「日本で一番の化学会社しよう」という目標に向けて、同じ志をもつ仲間を採用したいという思いです。土日のたびに本社に出動し、採用担当者と一緒に学生のリクルーティングを行っていました。上場企業にとっても優秀な新卒採用が困難なバブル期でしたので、見込みのある学生を口説き、いきなり担当役員と面談させるなど、それまでにはない新卒のアプローチを画策したりもしました。

変わりゆく化学メーカー

工場と本社を合わせて計8年半の人事を経て、不織布等を扱う衛生材料の事業部に異動しました。今ではマスクの材料として当たり前になっている不織布ですが、紙おむつやランドリー材、また、船が座礁した時のオイル吸着材料など、さまざまな分野でニーズが高い製品です。1990年後半から紙おむつのグローバル化が進み、東南アジアマーケットを狙った工場設備をタイに造ることが決まりました。そのプロジェクトリーダーとして土地選定からプラント作成、現地従業員の採用までを進めていたので、いよいよ初めての海外赴任と意気揚々としていた矢先に、住友化学との合併準備にむけたプロモーションチームに異動となります。結果的にその合併はなくなりませんが、1997年に三井石油化学工業と三井東洋化学が一体となり三井化学が生まれた後、化学業界の再編が進んでいた時代でしたので、そのままM&Aや他社との協業案件などの経営企画や経営計画、事業部の企画などに携わりました。



本社人事部時代の社員旅行（本人は上から2列目左から5人目）

その後、先ほどの不織布や歯科材料、メガネレンズなどを扱うヘルスケア分野の本部長を経て現在に至ります。

2020年に社長になってから、石油化学部門の出身でないことに驚かれることがあります。確かに、岩国（山口）と大竹（広島）に跨ったエリアに国内初の石油化学コンビナートを作った1958年頃は石油化学は日本の化学メーカーの主流でした。2度のオイルショックや新興国の進出などで、石油化学から造られるコモディティケミカル（汎用化学品）から付加価値の高いスペシャリティケミカル（特殊化学品）に、会社の

コア製品の転換は進みました。かつて広く使われた光ディスクやミニディスク、レーザーディスクの材料もそうですし、半導体向け材料や歯科材料などの分野も拡大、薄型のメガネレンズ用の原料ではグローバルでかなり高いシェアを持つています。入社以来、会社のポートフォリオを変えることを使命のように考え取り組んできたことが着実に成果を出しています。

若手の方へ

2020年以降、リモートが進んだことで却って若手社員と直接話をする機会が多くなり、彼らが新しいことや自己成長に意欲を持ち働いているのを感じます。彼らの意欲が周りにうまく表現されていないようにも思いますが、世代は違っても自分たちと本質的に変わらない情熱を持っています。

私が入社した頃の日本の多くの会社、特にエスタブリッシュな会社は、黙って同じ業務を管理しているモノが売れ儲かっていたものですが、90年半ば以降はその概念が崩れ、常に変革し続けないと会社は維持できない社会になりました。片や昨今は、会社規模ではなく魅力的なベンチャーやスタートアップ企業が選択されやすく、また優秀な人ほどその傾向が強い



**Profile** 1987年 4月 三井石油化学工業株式会社（現 三井化学）入社（千葉工場（現 市原工場）事務部）  
2014年10月 経営企画部長  
2018年 6月 取締役常務執行役員 ヘルスケア事業本部長  
2020年 4月 代表取締役社長執行役員

で、企業は、社員にチャレンジや成長する機会を用意し、好循環が生まれるしくみ作りが求められていると思います。これから社会に出る学生たちには、生活するための手段として会社で働くのではなく、自分の成長のため、誰かに貢献するなどの目標を持って新しいことに挑戦してほしいと思います。それは人の幅や引き出しの数を増やし価値を高めます。

若い頃の話です。入社して仕事を覚え始めていた頃、予定調和の波風立てないオトナのやり方がどうしても納得できず、建白書を携えて会社に訴え出たことがありました。職場ではしばらくギクシャクして居心地は最悪でしたが、結果的には見えてなかったものも見え、会社組織や人間関係で多くの気づきや学びを得た経験となりました。それを決しておススメするつもりはありませんが、大事なことは、気概を持って失敗を恐れず挑戦することは、結果はどうあれ

最後に

大学では多くのことを学びました。ポート部は私の原体験です。論理や客観性の大切さ、理と情のバランス、個と全体（チーム）の関係性などの考え方は、仕事や経営をマネジメントするいろいろな場面でフィロソフィーになっています。人は注意されるとつい頭にくるものですが、本当によくならないなら、それを受け入れるべき、指摘する方は相手に伝わるように分かりやすく話すべき、と幾度も教わった言葉は今も生きています。

両親とは4年で卒業する約束で北海道に来ていたので、自分の勉学も懸命に取り組みました。機会の平等や自由な発想・行動の大切さを謳った政治学ゼミの講義などは、企業のベースや土壌にとって真に必要な概念だと今だから実感できる学びでした。最近、日本近現代史シリーズ（岩波新書）を読み直しています。卒業して約35年、昭和・平成という時代を経て近現代史を学び直すことはとても新鮮で楽しいです。その次は中国やアメリカの近現代史や企業文化を体系的に学んでみるつもりです。



# 海外の同窓生に聞くコロナの状況

海外からの旅行者が増える中で、いつまでたっても感染が落ち着かない日本の状況は何故？海外はどんな状況？と思い、海外在住の同窓生から現地の様子を教えてくださいました。カナダ・欧州からはウクライナ侵攻の影響も伺っています。

6名の方から2022年12月初から2023年1月初にかけてメールでご返事をいただき、内容は実感値・体感値でお答えいただいています。

## カナダ

増田千苗 (H5・文)



カナダでは、現在コロナはほぼ収束したという認識になっております。以前は義務化されていたマスクも、2022年3月には着用は個人の自由ということになり、現在では大勢が集まる場所でもほとんどマスクをしている人はいません。唯一、病院は例外で、

ここではマスクの着用を要請されず。ただ、コロナ後に残ったものはたくさんあり、お店のレジや銀行の窓口ではプレキシガラスによるバリアがそのまま活用されていますし、学校には消毒液が常備されています。ミーティングもリモートで行われることが増えました。私の住むアルバータ州は保守的な土地柄で、アメリカの一部の共和党支持者と同様、根強いワクチン接種反対論、マスク着用反対論が人々の間にあり、デモなどもあったのですが、そうした出来事も過去のことになった感があります。

2022年9月末までは入国する際に、ワクチン接種証明やActiveCANというアプリを携帯電話にダウンロードすることなどが義務付けられていたのですが、10月以降はその必要がなくなり、通常運転に近い状態と感じます。ここ一年ほどは一日の感染者数が激しく増えることがなく、現在は一日1000人ほどで状況は落ち着いているのと、最終的には

政府が経済活動と天秤にかけて、平常に戻っても大丈夫だろうと判断した結果だと思えます。とはいえカナダでも、コロナは軽視してよい疾病とは思われておらず、現在の日本のような感染状態になれば、カナダでもまたマスクを付ける日常に戻るのかもしれない。[ウクライナ侵攻の影響]

もともとカナダにはウクライナから多くの人が移民してきたという歴史があります。ロシアの次にウクライナ系住民が多い国なのだそうです。戦争前にすでに120万人のウクライナ系住民が住んでいたのですが、2022年12月時点で約45万人のウクライナ人が一時滞在ビザを取得し、30万人がビザ申請中とのこと。私の知り合いの方の中にも、ウクライナから避難してきた人に家を貸している方や、NATOの一員として2023年1月からリトニアでの守備に派遣される軍の方がおり、この戦争を身近なものに感じます。

について言えば、カナダは輸出するほど生産しているので影響が少ないと思います。ちなみに、ロシアは100年以上前にもウクライナへ侵攻しており、ロシアの圧迫やその結果生じた飢饉から逃れるために、ウクライナ農民が移民としてアルバータ州などの穀倉地帯に入植して、小麦の生産に携わってきたという歴史もあるようです。「地政学」という言葉がありますが、地理、政治、歴史が三つ巴になって現在のカナダに影響を及ぼしているのだと感じます。

スウェーデン スウェーデンはもともと独自路線を貫いていましたが、もうコロナに関して はニューズでもほとんど話題になっていません。街中でマスクをしている人は全くいません。コロナによる多くの死



堀井靖代 (H3・教育・修)

者が出ていますので、対策に成功しているとはいえないのですが、自身の感想としてはコロナ期にスウェーデンで過ごせてよかったと思っております。旅行に行ったり大勢で集まって楽しんでいたりすることはできませんでしたが、ロックダウンは一度もなく、マスクの着用義務も厳しくなかったため、窮屈な思いをすることがなかったからです。

ワクチン接種証明を提示しないとイベントに参加できなかったり、映画館に入れなかったりした時期もありましたが、チェックは緩かったです。

ワクチン接種は18歳以上に推奨され、65歳以上は4回目のブースター接種が推奨されていますが、インフルエンザと同じ扱いです。私は2022年12月になって

「日本に帰国するために」3回目打ってききましたが、帰国しなかつたら打たなくても不都合はなかつたと思います。

「コロナ禍でスウェーデンの子どもたちは(社会的な活動を制限された一部の子どもたちを除いて)、一般的に不安のレベルは低かった。コロナ禍にもかかわらず休校されることもなかったため、ほとんどの場合、通常の生活が営まれていた」とこちらに住む宮川医師が論文の抜粋を紹介されています。

ました。不安な子どもも確かにいたようですが、若者の健康やライフスタイルに大きな変化は見られなかつたようです。以前日本の小学校で教員をしていましたが、元同僚に日本ではマスクをしていないと不安になる子が多いと聞いて愕然としました。

現在、テレビなどで新規感染者の報道はありません。それは、コロナが脅威を与えるウイルスの定義から外れたため、ほとんどの人は症状が出てみてもわざわざ検査をしていないからだと思います。周りを見ても、風邪気味だなと感じた時は自宅にいたり早く帰宅したりするくらいの対処で済ませ、検査までいかない人が多いように感じます。そのため、実際に感染しても新規感染者として数字には反映されないのではないかと思います。

## 「ウクライナ侵攻の影響」

この影響は本場に大きくて、物価がかなり上がりました。スーパーでもびつくりするくらい色々な物が高くなりました。貧困層の人々のために、安価で提供する特別なスーパーができたという話もあります。牛乳や肉などは10%、なんとコピー用紙などは4倍の値上がりだそう。また、ウクライナの子どもたちを助けるようにになり、私の働いている学校でも数人います。オン

政府が経済活動と天秤にかけて、平常に戻っても大丈夫だろうと判断した結果だと思えます。とはいえカナダでも、コロナは軽視してよい疾病とは思われておらず、現在の日本のような感染状態になれば、カナダでもまたマスクを付ける日常に戻るのかもしれない。

ラインでウクライナの学校の授業をうけている子どもも多いようです。

## イギリス

佐藤寛太郎 (S62・法)



イギリスのBCニューズでコロナが最後に報道されたのはいつだったか忘れてしまいました。

現在、イギリスでは、公共交通機関、オフィス、小売店、美術館、博物館、飲食店、理美容店、競技場、ライブハウス等、全ての屋内外で行動制限は撤廃されています。欧州間の旅客機でもマスクは不要になっています。私がここ数ヶ月で唯一、コロナ禍の名残を体感したのは、2022年10月ドイツのケルンで列車に乗った際、車掌さんにノーマスクを注意され、着用するまで立ち去ってくれなかつたことです。

イギリスでもワクチン接種は50代以上に4回目の順番が回ってきています。私は受けましたが、もうコロナも終わったし、既に1、2回かかって今はなんでもないから受けなよ、と言う人も増えてきました。

科学的なことを調べたわけではありませんが、イギリスは世界に先駆けてコロナワクチンを全国一斉に提供し、国民の3回接種到達が早かつたこと、その状態の中で極めて軽症の感染者(風邪薬を服用し、家で数日寝ていれば治る)が増加し、集団免疫のような効果が得られたのではないのでしょうか。なお、イギリスでは、発熱などで「コロナかな?」と感じたとしても、病院に検査など行きません(陽性確認は自宅キットが主流です)。そんなことをしたら病院のキャパがパンクしますし、第一、軽症につき長時間待たされるか、追い返されるかのどちらかでしょう。感染拡大当初、イギリスは欧州のコロナ対策においてダントツの劣等生でしたが、その後の巻き返して、現在は自由を謳歌している印象です。レストランにも活気が戻り、クリスマスシーズンの賑わいはお見せしたいほど華やかでした。本当にコロナはあたかも風邪のような扱いになっています。

中国でコロナ規制を緩和したら急激に危機に逆戻りしたというニューズは、こちらでも一時話題になりましたが、日本の感染状況とか新たな変異株などのことが報道されることもなく、もはやコロナはニューズの話にならない感があります。



「ウクライナ侵攻の影響」

2021年と2022年の11月と比較すると消費者物価指数は10・7%アップしました。そのため生活水準の確保を求めるストライキが地下鉄、鉄道に始まり、空港、郵便局、NHS（国民健康サービス）で起きています。特に鉄道業界は、2年で8%の賃上げを求め、12月から1月にかけて、毎週、数日ずつストを行なっており、ロンドン近郊市民の足に影響が出ています。

水道料金も大幅値上げが行われる一方、政府は2022年10月から半年間、電気料金の補助を決定したので、暖房費の嵩む冬、この施策は助かります。2023年の政府インフレ予想は更に7・4%。レストラン等の価格もジワジワ値上がりし、出費が増える一方だなぁ、と感じております。

ミャンマー

瀬戸山洋介（H12・農）

ミャンマーはここ数年、治安が安定せず、日々の生活にも身の危険を感じることもありますが、そうした他国とは異なる



特殊な事情があるので、コロナのことや感染対策に関心を払う余裕がない、というのが実情です。

コロナの感染対策としては、公共の場所や職場、飲食店などに消毒薬を置いてある程度で、行動を制限されるようなことはほとんどありません。5人に1人がマスクを着けているように思います。

恐らく国民の10〜20%位は中国からのワクチンを接種しているのではないかと考えますが、デルタ株の頃に国中で爆発的な感染拡大があり、その時にほとんどの人が自然抗体を持ったのではないかと個人的には思っています。一方、外国人はその時の壊滅的な状況に恐怖心を持っているので、外国人の集まりではマスク着用の割合は多く、外資企業の駐在員はインド製のアストラゼネカ製ワクチン（1回100ドルくらいだったと思います）を自分で入手して、3回目までは打っている人が多いと思います。

ミャンマーローカル企業で飲み薬を作ったというニュースもあるのですが、使っているという話は聞いたことがありません。

水際対策に関しては、2022年12月2日から入国時のコロナチェックが無くなり、ワクチン2回接種であれば陰性証明無しで入国できるようになりました（ちな

廃止、健康コードなども使わなくなりまし。ゼロコロナの時は様々な制限があり、研究者やビジネスに関わる人たちは移動が難しかったり、毎日のPCR検査などの面倒さでかなりストレスフルでした。

政策が転換されたゼロコロナ後に感染が爆発しましたが、自分の感覚としては、爆発的に感染が広まる直前の絶妙のタイミングでゼロコロナを止めたのだと思います。ゼロコロナを止める数日前からおそらく感染が爆発的に広まっていた、どっちにしろ感染爆発を止められないという判断だったのかなと思います。

勤務している華中農業大学でも一人感染者が見つかったら次の日に10人に増え、その次の日には100人というような状況でした。この学内で10人くらい感染者の段階で突然ゼロコロナの廃止が決まりました。

私自身も2022年のクリスマス頃に感染し、市中で爆発したときはイブプロフェンなどの解熱剤や抗炎症剤などの購買は困難な状況でした。現在は普通に手に入り、病院もそれほど混雑していません。



CTを取ったり、点滴したりと病院にかかりまし

みに私はその第一号の入国者でした。ただし、コロナに感染した際の旅行傷害保険（50USD）への加入は今でも義務付けられており、これは別な意味で新興国の外貨獲得の手段として無くならないと思います。

隣国のタイはミャンマーよりも早く完全にコロナ対応を止めました。ミャンマーからタイへの航空便が満席になることが多く、ミャンマーと比べて人気があります。タイについてもコロナによる影響を大きく受け、あちこちにあった日系レストランは激減したように思います。2国の事情は異なりますが、ミャンマーもタイも以前のような旅行者が戻ってくるまでには時間がかかりそうです。

インドネシア

藤井真治（S53・経）

ジャカルタでは公共の場では皆んなマスクしていますが（地方はほとんどしていない）、後はモールもレストランも普通に営業して、客はマスク外して飯食っておしゃべりしてます。日本は未だに何をやってるんですかね？始めるのも終わらすのも遅いです



たが、特段病院にかかることが困難という状況ではなかったです。周知遅く発症したので、それ以前は病院なども混乱していたのかも知れませんが、周りの話を聞く限り皆、適切な治療を受けられている感じでした。大部屋で多くの人が治療されていたり、待合場所でも点滴されていました。これは日本のスタンダードと違い、通常の様子です。自分は周りと同じくらい重症で、治るまでに2週間ほどかかりましたが、2〜3日でおおむね回復している人が多い印象です。

武漢ではおそらく8割程度がほぼ同時期に有症状で感染、1割強は無症状のまま感染したと考えられます。ほぼ全ての人が短期間で感染し、現在コロナが収まった状況です。

今でもほぼ全ての人がマスクをつけているものの、レストラン、映画館、旅行全てが通常営業に戻っています。中国製ワクチンは、それなりに効いていると思います。

80歳以上の高齢者を除き、本当に重症化した人は稀で、自分の周りでも自分の症状が一番重いくらいでした。日本でもRNAワクチンを4回打ってきた人も同様に罹り、症状が出ていました。若干mR

各国の感染状況(ゲージルのニュースより) [2023年2月初時点]

国	感染者数	死亡者	100万人あたりの感染者数
カナダ	457万人	50,704人	120,338人
スウェーデン	269万人	23,448人	260,793人
イギリス	2,429万人	216,887人	365,674人
ミャンマー	633,842人	19,490人	11,664人
インドネシア	673万人	160,832人	25,219人
中国	202万人	87,468人	1,444人
日本	3,276万人	69,485人	260,158人

※感染者数には感染確定者と推定感染者が含まれます。  
※国の医療および関連行政機関、The New York Timesなどの信頼できるソースから取得しています。

ね、という印象です。専門家と称する人たちがもつともらしい事を言うからですかね。

自身は2021年1月にデルタ株に罹り、アパートで1ヶ月以上自主隔離しました。10日くらいで熱は下がって元気になりましたが、その後PCR検査がなかなかマイナスにならず、部屋で筋トレばかりしていました。今もオミクロンにかかる人いますが、一週間くらいで出勤しているようです。

ジャカルタの様子は欧米各国と同じではないでしょうか。それでも街中の通りを歩く人は意外とマスクを着けていますね（空気が悪いからでしょうか）。政府の対応ルールは確かレベル1、公共の場ではマスクをつけることが推奨されています。レストランの営業時間は多少規制があるものの、利用する上での支障はなし。感染者数は一応毎日発表されていますが、慣れっことになっていて、日本のメディアのように未だに危機感を煽るようなトーンではないです。もうそんなに恐れなくてもいいんじゃない？という感じで捉えられているようです。出社制限や宴会などの人数制限ももうないようです。政府や企業の規制も現在は無いと思います。つい数ヶ月前まで、日本の本社の指導で日系大企業の駐在員だけがゴルフコンペ

NAワクチンの方が症状が軽いかなという印象があります。こちらの80歳以上の高齢者が相当数亡くなっているのは、彼らが西洋医学を信じないのでワクチン接種率がとても低いからで、亡くなった方はほぼワクチン未接種です。北京などで火葬場に車の行列ができていたのは日本のニュースなどで知ったくらいです。そうしたネガティブなニュースは中国では報道しない傾向があるので、はつきりしたことは分かりませんが、ざっくり日本や欧米のニュースと中国のニュースの間くらいのことが実際に起こっているのかな、と考えるようにしています。

時節柄「喪中」のハガキが無い  
込む12月、その中の1枚に先生の  
名前をみとめ、息をのんだ。「天寿  
を全ういたし去る10月5日 95歳に  
て永眠いたしました」とあった。  
先生と我々昭和44年(1969)  
卒のゼミ生との出会いは、50年以  
上も前であり、先生も40歳そこそ  
この若さであった。ゼミ(政治学)  
では、先生の方針で10数人のゼミ  
生それぞれが興味のある「国」を  
一つ選んでテーマを決め、英国の  
「Times」紙「New Statesman」  
誌等を中心に、掲載された関係記  
事・論説を参考にレポートをまと  
めることとされた。図書館で一定  
の期間ごとの紙の束を借り出して  
は、読みに読んだものである。ゼ  
ミの都度、ひとりが発表を行ない、  
いろいろと質疑・討論があった後、  
レポートの「出来」を含めて先生  
から講評のようなお話を伺う2  
時間ほどであった。

また、2度ほど先生とゼミ生で  
1泊の旅行に出た。一度は初冬の  
頃で、農学部演習林の宿泊施  
設を先生が手配して下さり、厳寒  
で有名な朱鞠内の隣町北母子里へ  
行った。もう一度は卒業間近、こ  
れも先生のご手配で定山溪の公務  
員保養所に出かけたものである。  
どちらの宿の夜も、ともかくみん  
な若くて随分とよく飲み、そして  
果てしない議論が続いた。  
学部後半の2年間は足早やに過  
ぎていき、就職など進路の相  
談で、ゼミ生として先生のお  
宅を訪ねる機会があった。木  
立の中の「大学村」を、かな  
り緊張しながら初めて訪れた  
ことを思い出す。卒業後は、  
ゼミ生はそれぞれの道を歩ん  
で行き、文字通り散り散りと  
なった。しばらくは、仕事に  
生活に精いっぱいであったはず  
だが、先生との連絡を絶や  
さないゼミ生もいた。そして、  
先生が千葉大に移って来られ  
てから、「絶やさなかつた連  
絡」が功を奏して、東京での  
再会が実現した。  
会合はテーマを決めたりす



小川晃一先生を偲んで(大船にて)

ることはなく、大体は元ゼミ生が  
順に近況の報告を行ない、そこか  
ら話題が広がっていく展開であつ  
た。そのなりゆきによつては、も  
う「いいトシ」になった元ゼミ生  
同士が声を張り上げて議論に及ぶ  
場面も見られたが、そんな時で  
あつても、先生が穏やかに何か話  
し始めた瞬間、全員が「謹聴」の  
態勢になるのは、この会合が「小  
川ゼミ」であることの証左であつ  
た。また、時に、先生が「今、サツ  
チャー主義について書いています」  
といったことを話され、先生が研  
究生活を続けていることを知る機  
会にもなった。  
先生は、長く鎌倉にお住まいに  
なつていたが、先生の用向きに合  
わせて、会合は東京駅周辺で開催  
されるが多かつた。一度、伊  
豆の温泉に足を延ばし1泊したこ  
ともあつたが、時は移り、先生の  
ご年齢が進んだところで、先生の  
お住まいに近い大船に場所を移し  
て続いていた。この間、会合に  
は何人か44年卒以降のゼミ生も加  
わり、賑やかさを増していた。  
ただそれも突然襲つて来た新  
型コロナ感染症にはなすすべがな  
く、会合は中断を余儀なくされ、  
先生の温顔・愛語に接する機会が  
失われたまま、令和4年となつた。  
この令和4年は日本の鉄道創業  
150年目とのことで、若干私事  
(元国鉄)にわたるが、現在関わつ  
ている「鉄道百五十年史」に関し、  
8月に先生にお手紙を差し上げ、  
ご返事を頂いた。思いがけず、こ  
れが先生との通信の最後となつて  
しまつた。  
そのご返事の最後に、先生は十  
河国鉄総裁に触れ、「私は十河信二  
に大いに関心があります。もう10  
年若ければ、1冊の本にまとめた  
いくらいです」と書かれていた。  
たんだんと読み過ごしてしまつて  
いたが、今思えば、「天寿」を以て  
しても断ちがたい研究心が迸る一  
節であつた。  
ただただ天を仰ぐばかりである。  
(2022年12月記)

# 小川晃一先生を偲んで

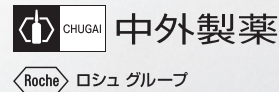
## 先生とゼミ生の半世紀

石堂 正信 (S.44・法)

傷つくのは病気だけでいい。

異常な細胞に狙いを定めて攻撃する  
「抗体医薬品」の開発で、  
中外製薬は世界をリードしています。

創造で、想像を超える。



# 未来の起業家を育成する

## 北大テックガレージ

【北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学協働マネージャー 千脇美香】

### 「北大に『ものづくり文化』を」

2021年8月から北大では、学生のものづくりを支援するプログラム（S.F.P.: spring/summer founders program）「北大テックガレージ」を春休みと夏休みの年2回提供しています。北大テックガレージでは未来の起業家を育成することを目的にスタートアップの開発手法を学びながらプロトタイプ開発を行います。このプログラムは、北大に『ものづくりの文化』を根付かせたい北大職員の有志4人が集まり、東大の「本郷テックガレージ」と連携しながらスタートしたものです。

### 「アプリ開発事例のご紹介」

プログラムスタートからすでに4回目となり、60名以上の学生を支援してきました。今回はその中から、「祭り運営を支援するアプリ

学生から事前に自分の開発したいプロダクトを私たち運営スタッフに提案し、プレゼンを行います。採択チームには運営側が提案書に従った開発資金を渡し、学生チームが予算の管理や開発スケジュール、材料の発注など自分たちで行うこととなります。また、

〈開発したアプリ〉



このアプリは、祭り運営の準備・当日運営・継承の全てを地図上で統合支援することで、運営メンバーの連携を円滑化する。操作画面には、運営リーダーが触る「管理者用」と実働メンバーが触る「実働用」がある。「管理者用」はメンバーや祭りの状態を把握でき、「実働用」はメンバーに視覚的なナビゲーション支援を提供。また、タスクや祭りの進行を地図上に記録しておくことで、「みえる継承資料」の自動作成や、お客さんへの情報提示も可能。

### 「アプリケーション開発のきっかけは？」

阿部さん…僕は、サークル活動で北大祭などの多くのイベントの運営を経験してきましたが、イベント中、運営者はずっとスマートフォンを握りしめて他のメンバーとの連携に追

### 「テックガレージへ参加した理由は？」

辻口さん…今住んでいるアパートの1階にあった飲食店に近所の町内会の人が集まる事が多くて、僕はその町内会の会議に参加してボランティア活動などをよく行っていました。お祭りのアプリが地域のためになるという阿部君のアイデアに共感したのが、このプロジェクトへの参加の動機です。

阿部さん…辻口君はお祭りという共通の興味領域とこのプロダクトに必要な最適化技術の知識がありました。僕はテックガレージの第1回目「S.F.P01」に参加した経験から、この開発を進めるための開発資金がもらえることを知っていました。その開発資金でプロトタイプを作ることや、期間中にユーザーインタビューをしなければならぬことなど、開発のための一歩を踏み出しやすい環境が整っていることを知っていたのが大きな理由です。

### 「参加してどうでしたか？」

阿部さん…テックガレージでは、プロトタイプを作ったユーザーに

露や実験する場になって、北大生のIT好きと北大祭のコラボが活性化して欲しいと思っています。

### 「今後についてお聞かせください」

辻口さん…現在のプロダクト開発地点は自分たちにとってはまだまだ途中段階です。このアプリケーションが世の中の祭りのデファクトスタンダードになるように開発を進めたいです。

阿部さん…アプリのおかげで祭りの日くらいは、みんなでどんちゃん騒ぎができるようになりました（笑）。そして、祭りを通じてみんなの楽しい空間をどうデザインするかをもっと考えていきたいです。



私たちテックガレージのスタッフは一人でも多く、ものづくりを行いたい学生を支援していきたいと思っています。北大テックガレージでは、定例会のゲスト講師やご寄付などOB・OGの皆様からのあたたかいご支援で運営しております。この場をお借りして、お礼を申し上げます。引き続きご指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

※本記事は北海道大学の魅力を発信するウェブマガジン「いねいね! Hokudai」の記事を編集・再掲しております



左から辻口 輝さんと阿部優樹さん(いずれも情報科学院修士1年)

持つていくことが大切だと教わりました。とりあえず自分で迷わず作ってみる。次に作ったものをユーザーに実際に触れてもらい、意見をもらって観察する。すると、次にやる事が生まれてくる。テックガレージでは、このループを大切にしています。これはテックガレージ終了後も変わらず、二人のチームの方針・軸として機能しています。あとは、ユーザーの声を聞きすぎないということです。特定ユーザーの要望をそのまま機能に追加していくと、時間も開発力も足りません。自分たちのプロジェクトであることを常に意識して開発を進めることを学

びました。その他には、S.F.P期間中に毎週行う定例会での学びも生きています。定例会でレクチャーを受けたインタビュ어의コツや動画作成の方法は今でも活かしています。特に定例会で使用したインタビュ어의テンプレートは、現在もそれを基にインタビュ어의構成を考えています。

### 「北大祭での実証実験はどんな挑戦になりましたか？」

阿部さん…今回の挑戦を経て「ほとんど触ってくれ！」という自信ができました。これまでは人に自分の作ったものを触れてもらうことに怖さや不安を感じていましたが、初めて作ったアプリが大きなエラーもなく、動き続けてくれたことは大きかったです。

実際にユーザーに触れてもらうことで、「ここめんどくさい」とか、「こういう機能欲しい」というユーザーの声を聞いて、何が本当に必要で、どこを改良して作ればいいのかを見極めて作ることが重要だという経験になりました。

今後のプロダクト開発にとっても、力点を置くところや大切にするとどこを見出せました。テックガレージの定

### 「この経験をどう活かしていきたいですか？」

阿部さん…北大祭の実行委員の方には4月からプロトタイプに触れもらって改良を行いました。結果、当日の人の動きが可視化できてよかったですという言葉を頂けて本当に嬉しかったです。今回は高等教育推進機構前のステージ部分のみだったので、今後は一つのイベントで全体の運営に使うことに挑戦していきたいです。

それと、北大祭がWebやロボットの技術プロジェクトの披



北大テックガレージSFP02でプロダクトの発表をする阿部さん

# 好奇心の先に――

今年、2022年4月から北大の招へい教員を務めることになり、札幌通いが始まった。久しぶりに眺める恵迪寮はツタが絡まり、かつての木造の恵迪寮の趣も感じられる。1982年に北大に入学し入寮。一代目恵迪寮の最終年を過ごし2年目から5年目の卒業まで現在の恵迪寮で寝起きした。恵迪寮では酒と自治活動に加え、寮と札幌町で管理する土幌小屋の運営にも関わり、足繁く東大雪に通った。

寮以外では、探検部と農学部林産学科(現森林科学科)が大学のベースであった。思えば、北海道の山と自然を、寮、部活、学部の3つの場から楽しんでいた。そして、それは今でも。現在、招へい教員の他、国連食糧農業機関(FAO)事務局長特別顧問、国際協力機構(JICA)国際協力専門員として、3つの視点から森林、自然環境、食糧問題に関わっている。

## ●面接でJICA入社

大学卒業後の進路として北海道の教員採用か青年海外協力隊への

参加を考えていた。北海道に残るか、熱帯林に触れるかという選択である。あえなく教員採用は不合格、協力隊は説明会の感触もよく受験する気満々であったが、講座の教官からは協力隊で二年間海外に派遣されても帰国してからの仕事はないぞ、協力隊を派遣しているJICAへ就職するか、大学院に進んではどうか?という助言を受ける。

明会に参加する手はずは整えていたものの、その前々日までは上ノ国の沖合の無人島、渡島大島で5年目の夏を楽しんでいた。当時、協力隊はともかくJICAの知名度は低く、東京の説明会に来る学生も少なかった。集団説明会に赴き、自分の関心をそれなりに述べたところ、翌週、面接を受けるようにとの連絡が入り、札幌に戻る間もなく面接へ。そのまま採用通知が届いた。就職してから分かったのだが、この年の新規採用は通常の試験採用と面接採用が半々。ただし、このような採用方式は翌年から無くなった。

## ●マライイ赴任とイギリス留学

採用後、途上国の森林を扱う部署に配属され、とりあえずの希望はかなった。本部のある東京勤務は馴染めなかったが、海外出張は楽しくて仕方がなかった。まだ行ったことのない国々に行くことは無意味だったが、何より首都から遠い地方や山



恵迪寮の自治会執行委員会

林を扱う部署に配属され、とりあえずの希望はかなった。本部のある東京勤務は馴染めなかったが、海外出張は楽しくて仕方がなかった。まだ行ったことのない国々に行くことは無意味だったが、何より首都から遠い地方や山

邦人の多くはこの国が好きになった。同国のキャッチフレーズはHeart of Africa。物はなくとも暖かい国だった。

ここでは、森林と野生生物セクターを担当。現場に足を運び事業を形成するのであるが知識の無さを実感。自然環境と住民の生計を両立させるには?答えが出ず、問題意識は帰国後も引きずり、結果、休職してイギリスのレディング大学大学院に留学し頭の整理にあたった。大学院の指導教官は、ネパール人のフォレストラーで、研究指導からイギリスの生活までお世話になった恩師であり、後に様々な形で再会することになった。

## ●FAO 林業局長 国際公募

復職後、本部勤務、海外勤務(カンボジア、フィリピン)を重ねていった。森林の仕事がしたいといっても、組織のサラリーマンである以上、いろいろな部署に配属されていく。2007年から2011年まで森林の担当部署の管理職を務めたが、それ以降、森林に関わる機会は人事上あり得なかった。もちろん他の部署でもそれなりに楽しく仕事はしていたが、頭の隅には森林の文字が見え隠れしていた。そんなある日、FAO(国連食糧農業機関)が林業局長の国際公募を出しているので、手を挙げ

てみないかとの誘いを受けた。FAOとは今までも様々な形で付き合ってきた組織なので親しみはある。ただ、その幹部ポストで働くことなどは今まで考えたこともなく、大いに戸惑った。とはいえ、世界の森林問題に関われる機会は滅多になく、受けてみないことにはその先は見えないという好奇心が先行し応募することにした。

オンラインによる書類提出を経て、ほどなくテレビ会議システムによる面接へ。よく言われるように、国連分担金に比べ国連で働く邦人は少ないことから、その点で採用のアドバンテージは高い。しかし、それはあくまで最終リストに残ったからの話であるから樂觀などはしてなかった。結果、思い



現地の森林官と(JICA・タイ出張時)

もよらず採用通知が届いた。そして2017年からローマの生活が始まる。

## ●世界の森林政策に貢献

ローマは街中が世界遺産であり、FAO本部はコロッセオやカララ浴場に隣接するような場所に位置する。ワインや食事の話を書き出せばキリがない。日中のコーヒーを片手にした打ち合わせは組織の風物詩。多様な国籍、背景を持つ人間と一緒に仕事をするには、プロアクティブなコミュニケーションは必須。理屈はそうだが、体を動かすにはコーヒーと、終業後の軽いアルコールが必須とも言える。ローマはそれにはうつつつけの場所である。

森林の仕事は、残念ながら現場に赴くことは叶わなかったが、森林政策を進めるための様々な会議に駆り出され議論をした。そこでは、JICA A時代につき合ひのあった途上国の森林官や大臣、また大学院時代の指導教官や同窓生と再会する機会があり、人とのネットワークがぐるりと一周した感じがしたものだ。

家庭の事情もありローマ勤務を4年ほどで切り上げることになったが、世界の森林問題に幾ばくかの貢献はできたと考えている。特に農業と森林をいかに調和させる



FAO事務局長特別顧問  
JICA国際協力専門員  
三次啓都 (S62 農・林産)

域に入り、様々な森の姿や地域の人々の生活を見聞きすることが楽しかった。もともと好奇心だけでは仕事は進まず、言語能力を含めて四苦八苦した時を過ごしていた。ほどなく、最初の任地であるマライイに赴任した。自身にとってアフリカは異文化の大陸であり、兼ねてから海外に赴任するのであればアフリカ!と決めていた。希望がかなったわけであるが、国の名前を聞いてもどこにあるのか分からないアフリカ南部の小国で日本人には馴染のない国である。

当時、日本大使館も設置されておらず(隣国ザンビアの日本大使館が兼轄)、在留邦人は協力隊員とJICA駐在員の約100名。アフリカ最後の独裁政権とも言われた政府であったが、治安はよく人々も素朴で優しい。アフリカの最困国の一つであり、エイズ、マライアの感染症も蔓延し開発課題は山積していたが、自身も含め在留



カナダ、アメリカ、メキシコの各森林局長と(FAO時代)

か?という提起が国際社会に定着できたことは一つの成果だったように思う。

## ●北大に戻る

帰国後は日本ベースでFAO事務局長の特別顧問を務め、そして北大に戻ってくることであった。一番新しい大学院である国際食糧源学院の講義と北大のSDGs戦略の支援が仕事である。学生諸氏とのジンギスカンパーティーや飲み会を楽しみにしているのだが、コロナ禍でままならない。それでも対面講義の前後の時間での立ち話はオンライン講義では叶わないこと。

いずれ、コップを片手にできる日もくるだろう。北海道も面白いが、世界はもっと面白い、ことを伝えていきたい。





# 世界のトックスブランドで働いて

東海地方出身の私は、受験で訪れるまで北海道に足を踏み入れたことはありませんでした。一浪したため、札幌には入試で二度訪れたことになりましたが、その時から北海道に惹かれていたのだと思います。日本に行ったことのない海外の同僚や友人から、日本に旅行する際のおすすめの場所などを聞かれることがあります。北海道は私の推薦リストにいつも入っています。

## ● 中国・スイス・アメリカでの仕事

北大を卒業して、最初に就職した会社は中壱酢店（ミツカン）です。そこでは開発部に所属し、冷凍食品の開発輸入をするプロジェクトで技術開発を担当していました。それまで海外旅行をしたことがなかったため、このプロジェクトでの中国出張が初めて海外に出る機会となりました。中国語を全く解さなかった私は、それよりは少しマシだった英語でコミュニケーションを図ろうと努力したのですが散々な状態でした。そういった経験が肥やしになっていると信じています。



北大アメフト部時代

返すときでも顔から火が出る思いです。

その後、バートンの日本支社で働くことになりました。バートン（バートンスノーボード）は、アメリカ・バーモント州に本社を置く、スノーボード製品を製造販売する会社です。大学院時代からスノーボードをしており、いつかはスノーボードに関わる仕事がしたいと思っていたところ、チャンスが訪れ10年ほどお世話になりました。自分の好きな製品やサービスを、品質管理とアフターサービス

スという製品に近い業務を通してユーザーに届けるという貴重な体験でした。社員のほぼ全員がスノーボーダーで、スノーボーダーのための会社であるというスタンスは今でも変わっていないようです。

その次に、現在勤務しているジボダンに転職しました。ジボダンは、本社をスイスに置く、食品や化粧品向け香料を製造販売する会社です。ここでは、日本支社に入社した後、プロジェクトのアサイメントのため期間限定でスイス・ジュネーブに勤務することになります。業務上は英語だけで何とか用は足せるものの、生活となるとスイスの公用語の一つであるフランス語でないと通じないケースが多々あり、ここでも四苦八苦したのを思い出します。バケーションはしっかりと取る、スーパーなどが日曜日休みのため週末はのんびり過ごす、といった、ヨーロッパならではの生活パターンをここで知りました。

プロジェクトのアサイメント期間が満了した後に、ジボダン日本支社で数年勤務した頃、アメリカ法人で勤務するポジションの話

## 前川 功一郎

H6理・院(高分子)

が出てきました。グループ企業内の転籍という扱いで、採用が日本人からアメリカ法人に変わり、かつ所属部署も変わるといものでしたが、ほぼ勢いだけでこの話に乗りました。勤務・生活することになりました。それから8年経ち今に至ります。

## ● 海外生活での学びや気づき

これまで海外で仕事・生活をやる機会を得てきましたが、社会人になる時には、海外で生活したい・働きたいという夢があったわけではなく、自分がスイスやアメリカに住むことになるのは夢にも思っていませんでした。節目毎のチャンスと家族のサポートに感謝しています。

海外で生活・仕事していると、日本との違いに戸惑うことが多々あります。そんな時、ストレスに感じたり、日本を懐かしく思ったりすることもありますが、振り返ってみれば何かを学ぶチャンスだった

た事が良くあります。

日本にも良いところ悪いところがあるように、どの国にも長所・短所があり、背景にはそうなる理由があります。出来るだけその理由を理解し、お互いの違いを自分の好き嫌いだけではない形で受け止めるよう努力しています。それが同時に、日本の文化や歴史を改めて学ぶよい機会になっています。

ここ数年ほどコロナの影響で、アメリカでも生活や仕事において色々な事が変わりました。業務においては、英語のネイティブスピーカーでない私にとって、会議を全てバーチャルで行うようになり、また物理的に同僚のデスクを訪ねて気軽に質問をする機会が無くなったことは大きな変化でした。

一方、私生活において、家で家族と顔を合わせて話をする機会が増えたことはプラスの一面です。また、コロナのパンデミックというレンズを通して、私の知らなかったアメリカの一面を覗き見た気もします。それまでも存在していた課題や対立（貧富差・人種間の格差・リベラル対保守・都市部対地方）が、コロナのパンデミックとそれに伴うシャットダウンで増幅された印象です。

例えば、オハイオ州を含めた中西部は物理的なシャットダウン解

除は比較的早い方だったと思いますが、カリフォルニア州やニューヨーク州などの沿岸都市部は慎重に進めていた記憶があります。沿岸都市部は人口密度が高く、公共交通機関を利用する割合が高い、という理由もあると思いますが、州知事の所属政党の方針や住民の意向も少なからず影響を与えているのではないかと個人的に感じています。

## ● シンシナティの生活

現在の住まいはアメリカ・オハイオ州シンシナティです。シンシナティは、オハイオ州の南西にあるアメリカ中西部の一地方都市で、南に接しているケンタッキー州、西のインディアナ州と併せて一経済圏を形成しています。元々ドイツ系移民から始まった街で、そのためビールの醸造や豚肉加工などが主要産業だったようです。そこから豚の脂肪を使う石鹸やろうそく製造産業が派生・発展し、その流れでプロクター&ギャンブルが今でも本社機能をシンシナティに置いています。

プロクター&ギャンブルの他、ジェネラルエレクトリック航空部門が本社機能を置いていることで、海外からの駐在者なども少なくありません。中国系の移民も増えているので、スーパーでのア

ジア食材の品ぞろえも充実しており、同じような食の傾向を持つ日本人としては助かっています。

その他、アメリカ中西部から南部にかけて点在する自動車産業拠点をサポートする自動車関連の日本企業支社も複数あり、日本語補習校など日本人コミュニティも小規模ながら存在しています。豪雪・ハリケーンなどの自然災害も少なく、比較的安全で物価も高くないので、初等・中等教育のお子さんがいる家族には生活しやすい都市だと思っています。

## ● 北大アメフト部の冥利

大学での4年間、アメリカカンファットボール部に所属していました。特にアメリカで生活・仕事する場合においてですが、アメリカカンファットボールが職場や友人との世間話のスポーツネタとして使える事は想定していなかったメリットでした。



NFLの観戦

最後にになりましたが、皆様のご活躍とご健康を心よりお祈り致します。

我々団塊の世代も早いもので卒業50周年を迎えました。札幌はコロナ感染者が増加していましたが、会場側の協力を得て久しぶりに対面での会を2022年10月27日に開催しました。出席者は関東からの3名を含めて10名。会場はポールスター札幌。

数人での集まりで時々会っている面々も、二人の奥様の参加で最初はやや緊張している感じで会は開始。

その後全員から近況報告があり、米国に長期駐在されていた方、経営を後輩に託した方々、まだ一寸だけ技術に関わっている方、そして偶然、奥様方のご趣味が一致していたこと等々で時間があっという間に過ぎました。勿論お話には怪我、病気のお話も多かったですが、最後は皆さん素晴らしい笑顔での写真となりました。60周年の記念会を約束しつつ散会しました。



# 機械S47年卒同窓会 卒業50周年記念会

留目 一英 (S47・工)

我々団塊の世代も早いもので卒業50周年を迎えました。札幌はコロナ感染者が増加していましたが、会場側の協力を得て久しぶりに対面での会を2022年10月27日に開催しました。出席者は関東からの3名を含めて10名。会場はポールスター札幌。

北海道の料理とビール本場に美味しかったです。

【参加者】(後列右から) 上遠野久夫、福村景範、福田豊、勝木公雄、長尾信一、上館卓美、早坂洋史、(前列右から) 福田洋子、勝木八重子、留目一英

## 北大合唱団東京OB会

# クラーククラブ第12回演奏会

## 12th Clark Club Concert

【日時】2023年4月16日(日)  
14:00開演(13:30開場)  
【場所】大田区民ホール アプリコ大ホール  
《JR蒲田駅徒歩5分》  
【入場料】1,500円(全席自由席)  
【問合せ先】  
infotokyo@hmcobclark.club



北海道大学合唱団は、大正4年(1915年)2月11日、学内図書館での東北帝国大学農科大学グリー倶楽部の第1回音楽会開催をもって創立起源としております。平成26年(2014年)には創立100周年記念の演奏会をNara大ホールで開催し、全国から多くのOBと現役を含め総勢216名が集い、北の大地に世代を超えた歌声を披露しました。



【演奏曲・来場者向け情報】



読者プレゼント

抽選で5組10名様に入場券を差し上げます!

上記問合せ先に、件名を【FRONTIER チケット希望】とし、氏名・郵便番号・住所・メールアドレス・希望枚数(2枚まで)を記載して3月10日までに応募ください。(当選者には返信メールでお知らせします)

2022年総会(学生会館)

東京OB会クラーククラブです。平成3年(1991年)、当時の若手OB有志数名が、『またハモロウカ』と歌い始めて以来、第12回の演奏会を開催するまでになりました。

これまで独自の演奏会だけでなく、4年毎の札幌でのOB演奏会、横浜国大グリークラブOB合唱団、函館男声合唱団や四大学OB合唱団とのジョイントコンサート(北大、九州大、東京大、東北大)、練習会場を提供して頂いた教会での感謝コンサート、2013年には東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町の「ホテル観洋」で演奏、昨年10月には伊那市で「男声合唱の響」に参加するなど、活発に活動しています。現在メンバーは20代から80代まで約40名で、毎月第2、第4土曜日の13時から16時半まで、教会の集会所で練習を重ねています。



Zoom オンライン合唱講座

コロナ感染拡大に伴い、2020年から是我々にとって大変厳しい日々が続きました。拡大初期に合唱活動でクラスターが発生したこともあり、周囲の目だけでなく、高齢者のメンバーが多いこと

もあり完全な自粛ムードになりました。メディアで繰り返し放送された富岳の飛沫シミュレーションは、合唱はダメを宣言したも同然で、活動休止を余儀なくされました。それでも諦められず、他の合唱団同様Zoomでの練習にチャレンジしましたが、各人の通信環境による時間ずれがあり、とても合唱として成り立つものではありませんでした。しかしながら何とか活動を継続するため、練習音源を使いながら指揮者の合図で自習させる「オンライン合唱講座」を2021年末まで継続しました。年末あたりからは細々と「対面練習+Zoom中継」をやりながら、2022年に入りようやく通常の対面練習を再開しました。いまでも常時マスク着用、CO2濃度計を持ち込みながら換気の励行は欠かせません。それでも歌える喜びは何物にも勝り、2019年9月の第11回演奏会以来3年半ぶりとなる第12回演奏会では、マスク無しで歌い、皆様と一緒にコロナ渦からの復活を共に感じたいと思います。まだまだ感染症対策等の制限が残るかもしれませんが、是非ご来場ください。

(松下国弘 S51・工/精密)

## 日建設計「気候非常事態宣言」

1. 私たちの働き方を革新し、日建設計の企業活動に起因する温室効果ガス排出を2050年にゼロとします。
2. 2050年の都市・建築デザインと働き方のカーボンニュートラルモデルを目標として提起し、2021～2050年で必要となる対策を年次計画として提示します。
3. これからの地域のあり方を展望し、インフラと建築の機能を融合した柔軟なシステムによる身近なカーボンニュートラルを提案します。
4. 企業の環境配慮を評価するスクリーニングシステムの構築を支援し、ESG 不動産/都市基盤投資の促進に貢献します。
5. クライアントと緊急行動の必要性を共有して課題解決を支援します。さらには社会に向けて発信して共感を呼びかけます。

執行役員北海道代表 久保田 克己 (工・昭59・建)

**NIKKEN**  
EXPERIENCE, INTEGRATED

株式会社 日建設計 北海道オフィス  
札幌市中央区大通西8-2住友商事・フカミヤ大通ビル  
Tel. 011-241-9537 Fax. 011-261-7673  
URL: <https://www.nikken.co.jp>

# ワイン産地・北海道の発展を目指して

北海道産ワインは、最近急速に注目されています（と思つていません）。道内では、醸造用ぶどうの栽培面積は全国1位、生産量については、山梨県、長野県に次ぎ、全国3位となっております。この10年でワイナリーが約3倍の53カ所（2022年3月現在）まで増え、国際コンクールで金賞を受賞したワインも生まれています。この場を借りまして、産地としての取組みや北海道大学との関わりを紹介させていただきます。

なお、この記事の内容は、道庁食産業振興課から得た情報を基に書いていますが、その部署の課長経験者としての個人的な寄稿であることをご理解ください。

## ◆はじめに

道北の和寒町で生まれ、主として札幌市で育ち、北大の北隣の高校から昭和61年に北大文Ⅲに入り、法学部へ移行しました。当時は、法律の知識を頭に詰め込むことが重要と思つていましたが、仕

事に就いてからは、それが直接役立つわけではなく、多様な観点だとか、筋道を立てた説明とといったことを身につけることが重要だったのだなど、社会に出てから気づいたものです。

平成2年に卒業し、北海道に入庁。現在は、新型コロナウイルス感染症対策の応援に駆り出され、ワクチン接種推進関係を担当していますが、経歴としては産業振興関係の業務に長く携わりました。

本題の道内のワイン関連産業について、大きく3つのポイント「地域の地力」「環境の変化」「民・学・道の連携」に分けてご紹介します。

## ◆地域の地力

道内では、地域の特長を活かし、以前からワインづくりの取組が根ざしてまいりました。いわば、北海道での老舗ですが、小樽に醸造機能を持ち、（空知管内）浦臼町などに畑がある「北海道ワイン」や、地域の魅力づくりのため、行政が中心となってワインづくりが行われ



北海道保健福祉部  
感染症対策局次長  
黒須 成弘 (H2・法)

てきた、池田町（十勝ワイン）や富良野市（ふらのワイン）の例があります。また、果物作りが盛んな土地柄を活かすため、後志管内の余市町では、早くから（2011年）ワイン特区の活用がなされています。

こうした観点から見えてくる特徴としては、北海道ワインの浦臼町鶴沼の農園が、日本一の醸造用ブドウ栽培面積となっていることであるとか、2020年11月、十勝ワインが開発した醸造用ブドウの独自品種「山幸」が、国際ブドウ・ワイン機構（OIV）に品種登録されたことなどがあります。「山幸」は、日本のワイン用ブドウ品種としては、「甲州」「マスカット・ベリーA」（いずれも、山梨県）に続く国内3番目の登録品種でした。

学デイヴィス校大学院出身で、ワインコンサルタント会社に勤めていた頃、縁あつて栃木県のワイナリーでワイン造りを指導し、その後、自分の理想とする土地を探して北海道を選んだとのこと。自分の農園や契約栽培農家のブドウを使って醸造するほか、醸造所を持たないブドウ栽培農家に対して醸造の場を提供しており、ここで力をつけた新たな生産者が生まれています。

## ◆民・学・道の連携

道内でワイン生産の動きが活発化してきたことから、北海道は販路開拓に向けた国内外でのプロモーションを行ってきたほか、2015年から「北海道ワインアカデミー」を開講し、国内外の専門家を講師に迎えて、ぶどうの栽培や醸造技術、マーケティングなどのレベルアップを目指し、人材育成に努めてきました。

この事業には、北大にも協力していただいています。2021年から寄付講座を開設し、学生や社会人向け講義等を充実させ



開発中のブドウ栽培用EV (北大HPより)

る取組をスタートさせています。道内のワイン生産者の多くが小規模経営であることを踏まえると、引き続き、栽培醸造技術や経営、販路に至るまでの総合的なサポートが重要となっています。こうしたことから、2022年4月には、道庁と北海道大学が中心となり、北海道経済連合会をはじめとした経済界や金融機関、研究機関、農業団体などの関係機関が連携してワイン生産者を支援する「北海道ワインプラットフォーム」を発足しました。このプラットフォームでは、ワイナリーの新設立やワインのブランディングなど、様々な分野の相談に対応して、技術的な助言や専門家の派遣などを行っています。

2023年には、北海道大学の旧昆虫学及養蚕学教室が改修され、「北海道ワイン教育研究センター棟」が開設されます。この施設は、ワインの研究スペースに加え、ワインのプロモーションスペースとしても活用できるカフェが併設される予定です。

このほか、北大工學院等が中心となり、ブドウ栽培にお

## ◆道産ワインをブランドに

このように、品質の向上はもとより、情報発信を強化するなどして、安定した販路と顧客の獲得につながることで、道産ワインの評価やブランド力をさらに高め、北海道が先進地域に肩を並べる、ワインの世界的な産地となるよう、地域の関係者が一体となって取り組んでいます。

## ワイン産地形成に向けた支援体制



## ◆環境の変化

まずは「気候の変化」です。ブドウ栽培には、ブドウ品種ごとに適した気候条件（中でも温度）というものがあありますが、地球温暖化の影響により、北海道がその適地として注目されるようになってきています。最近では、仏ブルゴーニュ地方の老舗ワイナリー「ドメーヌ・ド・モンテューク」が函館市に進出しています。シャルドネ、ピノノワールを植樹し、初収穫は2023年、初出荷は2025年と見込まれています。

また、「委託醸造や醸造指導環境の充実」もあります。岩見沢市にある「10R（トアール）ワイナリー」は、ブルース・ガットラヴさんにより2009年に開設されました。彼は、アメリカ合衆国ニューヨーク州生まれ、カリフォルニア大

# 中小企業支援！で再スタート

新型コロナウイルスの影響で日本中の中小企業が困窮しました。国は矢継ぎ早に補助金政策を発動しましたが、申請業務が煩雑なために中小企業への支援金は滞り、一刻も早い対応が必要でした。

私はそうした企業をサポートするため、中小企業診断士として開業することを決意しました。中小企業の社長と共に夢を描く、そんな中小企業診断士の仕事を紹介したいと思います。

## ◆北大での7年間

1981年理I系に入学し、恵迪寮に入寮しました。10人部屋の共同生活という洗礼を受け、ハンドボール部にも所属しました。母子家庭の4人兄弟ということもあり、仕送りがなく奨学金とアルバイトで食いつなぐ毎日でした。勉強に集中していれば良かったのですが、溢れ出る若いエネルギーは留まることなく、ハンググライダー同好会、山岳部と活動の場を拡げました。山岳部ではヒマラヤ遠征隊にも参加し、ガルワール・ヒマラヤのスタルシャン・パルバット峰にも登頂しました。また、



山岳部の仲間と日高山脈の稜線にて (写真中央が筆者)



学部研究室 (後列右から4番目が筆者)

1983年、旧恵迪寮から新寮への移行を機に、探検部など恵迪寮の仲間と北14条の一軒家「青年倶楽部」に住み始めました。休学と留年を繰り返して、大学入学から5年が経過しても、まだ、2年生の単位を修了したままでした。ここから、猪突猛進、勉学に励み、1986年、理学部化学第二学科(現、化学科)に3年生として復学しましたが、昼間の化学実験と夜のレポート作成に追われ、思うようにアルバイトができない壁に直面しました。アルバイトが

トが多い夏に集中して生活費を稼いでも、高時給のアルバイトがない冬を越すと春にはお金が底をつきました。素麺で腹を満たしていた時、山岳部の仲間がミカンやコメを差し入れてくれて、本当にありがたかったです。卒業には力を入れました。没頭するあまり卒業式までに卒業が完成せず、1988年3月30日、日立製作所の入社式の前々日に教授に押し付けるように提出しました。後に、私の卒業は手垢で汚れるほど多くの学生に読まれ、この



ビスエイト株式会社 代表取締役 中小企業診断士 宮本 真 (S63・理)

卒業を起点にした研究で2名の学生が博士号を取得したと教授に伺い、報われた気がしたものです。

## ◆会社での経験

大学卒業後、日立製作所の研究者として社会人の一歩を踏み出しました。会社での仕事や経験は、一言で言えば、北大で過ごした7年間の延長のような、起伏の激しいものでした。

会社では、画期的な光記録材料を開発し、その技術を生かしたDVD・RAMや太陽電池などの開発を率い、国際学会での招待講演、標準化活動、合計70件以上の特許登録を行いました。また、台湾や米国のベンチャー企業に駐在し、新事業立上げにも参画しました。さらに、日本初の集合住宅用蓄電システムや、人々を水害から守る防災用IoT端末など多くの

新事業を立ち上げ、今思えば、起業する上で必要な様々な経験をさせてもらいました。

## ◆中小企業診断士として独立

人生百年時代といわれる中、定年退職後にどのように生きていくかを考え、私なりにたどり着いた答えは、新しいことにチャレンジする企業を支援し、ともに夢を実現していきたいというものでした。できれば、独立して自分の会社で新事業を立ち上げたいという気持ちもありました。

50歳代半ばに挑戦することにした中小企業診断士という資格は、経営コンサルタントとしての唯一の国家資格です。「経済学」「財務会計」「経営理論」「運営管理」「法務」「情報システム」「中小企業政策」の1次試験と、2次試験では「組織戦略」「マーケティング戦略」「生産戦略」「財務戦略」

の4科目の筆記試験と口頭試験があります。過去の合格率は3〜8%で、50歳代に限れば合格率1〜3%の難関試験です。私の場合、新事業の立上げを通じて、経営に関する知識はありましたが、「法務」は苦戦しました。それでも3年目には何とか合格できました。



羅針盤をモチーフにした中小企業診断士の襟章

コロナが拡大して中小企業の経営を苦しめる中、彼らを支援する中小企業診断士が日本中で不足していました。定年退職を数カ月後に控えていましたが、2021年春、中小企業診断士事務所を開業することを決意し活動を開始しました。私が立ち上げた新事業の引継ぎのために、前の会社で週2日働くこととしましたが、2022年に入ると中小企業診断士としての問い合わせが増え、引継ぎの完了を機に会社を辞め、6月に法人化した本格的に独立しました。

新会社の社名は、ビジネスを表す「ビズ」と、顧客企業の継続を願い、「末広がり」や「七転び八起き」を連想させる「エイト(8)」を組み合わせて「ビスエイト」にしました。

## ◆事業再構築支援

中小企業診断士の仕事は多岐に渡り、経営に関する一切の支援業

務を行うことです。業務範囲が広いので、それぞれの中小企業診断士は自らの専門分野——たとえば事業再建、IT経営、WEBマーケティング、生産性向上、組織戦略、事業承継などの強みを打ち出しています。共通していることは、羅針盤のように企業の進むべき方向を指し示すこと。中小企業診断士の襟章は、羅針盤をモチーフにデザインされています。

私の場合は、長年、新事業の立上げを行ってきましたので、事業再構築を専門としています。現在、事業再構築をテーマとして、国や自治体、民間コンサルタント会社、知人などから業務を委託されています。たとえば、電気自動車普及に伴い市場が縮小するエンジン部品メーカーに対して、既存事業の課題を整理した上で、新事業のアイデアを提供し、事業計画を策定するなどの支援を行っています。

顧問先企業の内外の状況を徹底的に分析し、最適な事業アイデアを考え、社長が納得する結果を出すことが求められます。さらに、新事業に資金が必要になる場合には、事業再構築補助金の申請のための事業計画書の作成支援も行っ

ています。事業再構築補助金は、成長分野に投資する企業、国内市場縮小などの構造的な課題を抱えている企業、物価高対策、最低賃金を上げようとしている企業などを対象とする大型補助金で、補助金額は最高1.5億円(補助率1/3〜3/4)です。対象となる中小企業、中堅企業にとってはメリットが大きい、活用すべき制度だと思えます。全国どこからでも構いませんので、興味がある方はお問い合わせください。

## ◆経営者と共に夢を描く

全国の企業の99.7%は中小企業です。およそ400万人の経営者が、日々、取引先や従業員のために苦労されています。中小企業の経営者にとって、最も辛い瞬間は、事業継続の方策が途絶え、望みをなくした時だと思えます。難しい仕事ですが、私は、そうなる前に、これまでの経験を活かし、経営者とともに夢を描き、夢の実現をサポートできるような中小企業診断士になりたいと考えています。

∞ビスエイト 中小企業診断士事務所 <https://biz8.jp>



# マダニを活用した地域おこし — 厄介者の商品化 —

私は、ユネスコ世界ジオパークに認定された「アポイ岳ジオパーク」の町、北海道様似町で植物の学芸員として働いています。アポイ岳は、高山植物とかんらん岩で有名な山で、ここにしかない固有植物が20種ほど生息しています。加えてアポイ岳の魅力は高山植物と太平洋の眺望です。本州なら2500m以上、北海道でも1500m以上登る必要があるのに、標高810mの低い山にも関わらず、ここアポイ岳では高山植物を見ることが出来ます。



学位授与式で。左は指導教員の工藤岳先生

一方、山には厄介者のマダニも棲息しています。ビクターセンターでマダニのネックレスやグッズを販売し、テレビなどで紹介されるようになってマダニに関心を持たれる方が増えた気がします。

## ◆高校〜静岡大学時代

物心のついた頃から生き物が好きで、高校の生物部の顧問教諭から「水永さんは、研究者か学芸員か自然保護官が向いていそう」と言われましたが、それらがどのような仕事でどうしたらなるのか、当時の私には分かっていませんでした。高校3年の時点で私の学力はそれほど高くなく、理学部生物学科のある国立大学で一般入試の合格基準を満たす大学は一つもありませんでした。しかし、部活の顧問から、静岡大学のAO入試はプレゼンテーションと面接でほぼ合否が決まることを知り、旭川の山川の散策調査に高校時代のすべてを費やし打ち込んだ生物部での研究成果をプレゼンし、合格す

様似町 商工観光課アポイ岳保全係  
水永優紀（H30 環境科学院）

ることができました。顧問の先生には感謝してもきれません。大学4年ではフィールドワークがメインの研究室を選択し、高山植物の卒業研究の過程では、植物生理生態学が専門の指導教員と富士山、北岳、八ヶ岳を訪れました。大学の指導教員は特任教授だったので、修士の学生を受け持つことができず、大学院で高山植物の研究を続けるには別の研究室に行くしかありませんでした。北大環境科学院に大雪山の高山植物の研究をしている先生がいることを知り、また北海道に帰りたい気持ちもあつたので、北大の大学院に進学することを決めました。

## ◆北大時代

修士課程では、大雪山のヒサゴ沼という調査地で高山植物と訪花昆虫の関係について研究しました。登山口からヒサゴ沼までのコースタイムは8時間、初めてヒサゴ沼に行ったときは9時間もか



ヒサゴ沼に行く途中。行き来はとてもしんどいのですが、ヒサゴ沼は天国のように高山植物が咲き乱れるきれいな場所です。

うになったからさそうです。その時は全く考えてもいませんでしたが、この縁が結果的に様似町へ就職するきっかけとなりました。

## ◆様似町の地域おこし協力隊

3年間の博士課程で学位を取得することはできず、単位取得退学をして、2018年の4月から様似町の地域おこし協力隊（2020年4月からは様似町役場職員）になりました。様似町にきてからの主な仕事は、アポイ岳の麓にある栽培施設でアポイ岳に生育する希少な高山植物の生息域外保全を行うことです。これまで栽培の経験が全く無かった私は、本当に無事に苗ができるのかと半信半疑で始めましたが、順調に苗は増え、様似に来てからの5年で予定していた種類の苗はほぼ作る事ができました。



栽培した苗。アポイクワガタ、アポイハハコ、アポイヤマブキショウマ、アポイマンテマ、アポイカラマツ、アポイカンバ、アポイキンバイ、サマニオトギリ、ヒダカソウなど。

アポイ岳の調査では登山道を外れることがしばしばあります。登山道の外には大量のマダニが潜んでおり、足元からぞろぞろと登ってきます。最初は気持ち悪かったです。最初は、見ているうちに慣れてきて、可愛いかもしれないと思うようになりました。

## ◆マダニの商品化



シュルツェマダニのネックレス

北大を単位取得退学してから一年後、職場の理解と先輩、後輩、指導教員の助けを借りて博士号を取得しました。学位記授与式のあつた日の夜、職場の上司が海鮮居酒屋で祝ってくくださったのですが、注文したホッケのお刺身に、活きのいいアニサキスが付いていました。それを見て、高校生の時に目黒寄生虫博物館で購入したアニサキスキーホルダーをふと思いつきました。アニサキスのように、マダニでも何か面白いものができるのでは？と思い、趣味でアクセサリー製作を行っているビクターセンターの職員に相談したところ、面白がつてマダニを樹脂に生き埋めしたり、それを使ってピアスやネックレス等を試作してくれました。

## ◆救世主現る

上司にマダニネックレスの強行販売をたしなめられ、今後の販売が危ぶまれていた頃（試験販売から2か月後）、ビクターセンターに感染症内科が専門の医師が来館されました。その医師は、マダニネックレスを30個購入したいとのことでしたが、もう販売できないかもしれないことを伝えると、「マダニネックレスは命を救う商品です。これから野山に入る人や、医療従事者が、マダニがどのようなものなのかを安全に観察

私は、マダニを採取しては顕微鏡で観察し、種類を調べたり、納

するためのツールとして世に出すべきです。販売中止になるのであれば、医師会から様似町に意見書を出してもいい」と激励の言葉をいただきました。この言葉をそのまま上司に伝えたとこ、マダニの危険性や生活史、対策などを解説するチラシを新たに作って、そのチラシを商品とともに渡すことを条件に、ビクターセンターでの販売だけでなく、インターネットでの通信販売の許可も得ることができました。1年後にはふるさと納税の返礼品としても採用され、生産が追い付かないほどの人気商品になりました。

様似町に調査に来られる研究者は、地学専門の方が多く、次にチョウチョ、植物と続くのですが、ついにアポイ岳のマダニに魅せられて、マダニ専門の方も来られるようになりました。最近では、私が見つけた3種以外に、新たに2種のマダニが見つかりました。2023年もきつと、アポイ岳でマダニの新たな発見があるに違いありません。

◆◆◆  
植物担当の学芸員として採用されましたが、マダニやキノコ、野鳥、昆虫と浮気しがちな私を、そのままやりたいようにさせてくれる今の職場にとっても感謝しています。

# 開拓者魂で邁進する魚屋

鮮魚店を開業したのは、北大水産学部卒のワタクシにとつて自然な流れだったのかもしれない。小さい頃は札幌の厚別もみじ台公設市場の鮮魚店の前で、鮮魚の匂いに足を止めていた少年でした。『北海道民であれば、北大を目指す』と小一の時に北大へ行くことを決めていました。近所のお兄ちゃんが北大工学部へ通っていたことが大きく影響しました。

そして北大自慢の全国トップクラス水産学部を選び、人生の羅針盤は定まりました。俺には魚しかないと。北大教養、水産学部、函館という街、多感な学生時代、大学院も含めて、この経験が無ければ今の僕は存在し得ないと言い切ることができません。

## ◆北大へ、水産学部へ！

1999年、地元札幌東高校を卒業し北海道大学へ入学。本当に誇らしい気持ちでした。学部はどこが良いかと考えましたが、持っている大学の少ない、希少な水産学部を選択。人と違った事をしたい、斜陽と言われる水産業で自分は何が出来るのかを試したいと思った



アメフト部biggreenの友人と(本人中央)

からです。北海道大学といえば「フロンティアスピリッツ」。道の無いところに道を作ってみよう。水産業の分野で道なき道を作りたいと思いました。

大学時代は、本学で体育会アメフト部biggreen、函館キャンパスではバスケットで体力づくりに励みま

だつたので、決まったアルバイトができず、日雇い肉体系や治験バイトに精を出し、効率よく稼ぐ事も意識しました。

個人的な話になりますが、実家がとても貧しく、親からは大学には行かせられないから働けと言われていたのですが、北大へ入学する



北大函館キャンパスでバスケット部のメンバーと

以外の選択肢が自分の中に無かつたので、高校の先生に相談し、とにかく勉強しろと言われ頑張りました。結果なんとか大学院まで修了することが出来ました。日本という国は本当に素晴らしい国だと思います。だからこそ、感謝と恩返し

## ◆いざ大洋漁業へ！

2005年、水産学部を出て大洋漁業(現・マルハニチロ)へ入社。違う業界の多くの超大手企業

さんから内定をもらっていました。水産学部ならやっぱり水産業でしょ！と、マルハにお世話になりました。配属は北米事業を希望し

ていて、念願叶って「かに課」へ配属されました。かに課での仕事は、現在何にも代えがたいとても貴重な経験となりました。  
2年間本社大手町で下働き。当時、若さの勢いで新人なおかしに思ったことをどんどん進言。それが功を奏し!?かなり冷遇されました、今となってはそのことも現在の自分を作る礎となっており、感謝の念でいっぱいです。  
2007年より、中部支社(愛知、岐阜、三重、北陸三県)でカニの営業担当。朝、地方市場の担当者へ売込みです。人生で一番つらく厳しい2年となりました(笑)。マルハの看板があればスイスイ売れると思っていたら、全然売れない!。必死に得意先を回しても全く相手にされませんでした。毎日泣きながらの営業です。



北海道すなお水産 代表取締役 荒木是郎(H17・水産院)

押してダメなら引いてみる、あの手この手で常識と思っていた売り方を変えてみたり、逆に売り込まなかつたり、いろいろやりました。何より「相手の話を聴く」という事を身に染みて体得したように思います。一年経ったあたりから買ってもらえるようになり、お客さんからの信頼も高まってきました。今でもその時の皆さんとやり取りしています!

僕に影響を与えたのは、得意先地域の卸会社の社長さんや水産加工会社の社長さんとの出会いです。社長の判断一つでパンパン!と物事を決めていく、時にそれは合理性を越えて感情で判断することもある。しかし、従業員に給料を渡すための利益はしっかりと出さなくてはならないわけで、とにかく全て自己責任の世界を目の当たりにしました。カッコよすぎて、自分もこうなりたい、自分の力で誰もやらないような事をした!と強く思いました。

ちょうどそのころ、若手特有の悩みをやはり抱えておりました。こうしたらもっとお客さんのためになるのに、仕入先の方にももっとこうしてあげたい。それを会議のたびに発言しておりましたら、やはり、完全に干されました。その時に上司から「そんなに自分の好きになようにやりたい人ならお前が

からです。北海道大学といえば「フロンティアスピリッツ」。道の無いところに道を作ってみよう。水産業の分野で道なき道を作りたいと思いました。



道東・標津町の若手漁師「波心会」のメンバーと

社長になれよ」と言われ、目からウロコが落ちました!!自分でやればいいんだ!!!

ほどなく退社の意向を伝えました。水産業の一端で本当に濃密な仕事や社会の厳しさを教わった4年間でした。その後、開業に向けて、人材サービス会社へ入社して無形のモノをお金に変える経験を積み、また、世界的超大手製薬会社で営業(MR)を行って開業資金を貯め、そこから一気に開店準備を始めました。

## ◆北海道すなお水産誕生!

そして2016年8月、地元北海道の水産物を皆さんに食べてもらうべく、東京文京区本郷に「北海道すなお水産」を開業しました。今時鮮魚店を開業!?みんなに言われ

ました。北海道すなお水産は、北海道の美味しい水産物を食べてもらいたい、というシンプルなコンセプトで

スタート。開業前、仕入先探しで北海道の海岸線を5周回りました。もちろん離島へも。季節ごと・魚種ごとに現場へ赴き、現地の方と話をし、共感してくれる方々から、日本一と呼べるレベルの水産物の取引を始める事が出来ました。何の後ろ盾のない私とよく取引してくれたなと思います。北大水産学部という肩書が本当に本当に有難かつたです。  
開業後も随時、想いを持ったサライヤと心と心が通じ合う魂のやり取りをしています。水産会社さん、水産加工屋さん、漁師さん、漁業組合さん、地方市場さんの現場に行つて食べてみて、美味しかったら突撃でご挨拶、を繰り返してきました。  
お客さんからは、北海道産だけでなく全国の美味しい水産物を、どのお声も多く、今では九州・関西・北陸・東北・関東と赴いて、信頼関係を構築して仕入れをしています。もちろん、東京の豊洲市場も大切なサプライヤで、毎日通っております。  
今はインターネットの時代。Facebook、Instagramを駆使して、毎日の入荷や普段思っている事、魚のこと、生産者さんの想いを熱いエモーションと共に配信・投稿しております。それを見てお客さんが来てくれております。産地のみんなの

熱い気持ちを一緒に乗せて、、、それが無かつたら潰れていたと思います。当然、品質は日本でもトップクラスのモノを扱っている自信があります。いだけ水産物を食べてきた僕が美味しいと思う魚だから、、、。  
◆若者たちへ!  
フロンティアスピリッツを貫くことは、時に、並大抵のマインドでは出来ません。それはそうでしょう、道を自分で作るのですから。しかし、若者たちよ、何のために北大へ入つたのか?北海道開拓の歴史の上にも勇気で一生懸命であった諸先輩方のおかげで、今僕たちが北海道で、東京で、全国で良い評価を受けている事に想いを馳せれば、次の世代のために、さすが開拓者精神の北大生だね!と言われるような生き方をしたいです。何のために生まれてきたのか、何のために生きていくのか。それは、安定とは全く違う、つらく厳しい生き方かもしれないが、北大生の誇りをもってチャレンジして欲しいと思います。僕も、日々、チャレンジしています。

北海道 すなお水産  <https://www.sunaosuisan.com/>

アルミのことなら日軽金

## 多磨霊園墓参

### 2022年の墓参を終えて



クラーク遺徳顕彰・墓参委員会 浅田清 (H1・歯)

毎年、北海道大学東京同窓会では新渡戸稲造氏の命日に当たる10月16日の近くの日曜日に、多磨霊園の墓参を開催しています。昨年の墓参の開催は10月9日でした。

新渡戸氏は71歳の時、1933年10月15日に外遊先のカナダのビクトリアで亡くなりました。日本

では16日になっていたので、日本では16日が命日となっています。コロナの影響もあり、一昨年と同じく主催を「多磨霊園の墓参を愛好する有志の集まり」として開催しました。

今回は19名が参加されました。いつものように松野家石材店に午前10時30分に集合しました。この時には18名が集まり、当日のスケジュールを説明しました。また札幌から参加された石川満壽夫さんから、最近の北大についてのお話をいただきました。

松野家さんを出て最初に新渡戸稲造氏の坐像に移動しました。既に関口光男先輩が到着されており、総勢19名となりました。坐像に着くとまず皆で手分けして清掃を行いました。次に都ぞ弥生を歌い、集合写真を撮影しました。

この後、新渡戸稲造氏(1862・9/1-1933・10/16)のお墓に移動して、清掃しお花を供えました。集合写真を



内村鑑三の墓



有島武郎の墓



廣井勇の墓

撮影し、都ぞ弥生を歌いました。都ぞ弥生を歌う時に坂倉雅夫さんから新渡戸先生についてのエピソードの紹介がありました。次に内村鑑三氏(1861・3/26-1930・3/28)のお墓に移動しました。お墓を清掃し、集合写真を撮影しました。ここでも坂倉さんから内村先生についてのエピソードを聞き、皆で都ぞ弥生を歌いました。それから有島武郎氏(1878・3/4-1923・6

9)のお墓に移動してお墓を清掃し、集合写真を撮り、坂倉さんから有島先生のエピソードを伺って都ぞ弥生を歌いました。最後に廣井勇氏(1862・10/24-1928・10/1)のお墓に移動しました。お墓を清掃し、集合写真を撮影しました。ここでは石川満壽夫さんから廣井先生のエピソードを紹介いただき、皆で都ぞ弥生を歌いました。このあと私が挨拶して、散会となりました。

10月9日の天気予報では、寒く

なり雨も降ると言われていましたが、墓参をしているときは曇りで何とか天候にも恵まれました。またお墓の場所もほとんど迷わずに回れて良かったです。

このたびもまた参加された有志の方々、北海道大学に対する強くて熱い思いにも改めて感動いたしました。

〔参加された方々〕松田昌幸(S36・理化)、青戸哲二(S37・理)、関口光男(S43・工)、平田更一(S44・理)、佐藤信雄(S44・経)、福地光男(S45・水産増殖)、石川満壽夫(S46・工・土木)、中島達己(S47・経)、村上幸夫(S48・理化第2)、坂倉雅夫(S48・農・農業工学)、細井眞澄(S49・工・土木)、石田恵(S50・歯)、佐藤文康(S58・歯)、浅田清(H1・歯)、松浦永治(H8・法)、山本剛(H10・法)、池田雄二(H18・法)、宇野裕治(H20・文)、坂下節子さん。

写真撮影：松浦永治氏



新渡戸稲造の墓の前で

# 「渡し」にはドラマがあった

## ウーラントの詩とレーヴェの曲をめぐって

ウーラント同“窓”会<sup>\*1</sup>編著／発行:(有)荒蝦夷  
サイズ148×210／200頁／定価2,420円(本体2,200円+税10%)

国内へ初めて紹介したのは  
新渡戸稲造氏

ロマン主義というのはドイツ文学史上では重要な位置を占めているが、詩人であるルートヴィヒ・ウーラント(1787-1862)、作曲家のカール・レーヴェ(1796-1869)を知る人は少ないのではなからうか?筆者が初めてこの本を手にした時、図書館でドイツ文学史の本を探したが、市の図書館では僅かなものしか手にすることが出来なかった。国際レーヴェ協会(会長は日本の声楽家佐藤征一郎氏)のホームページを読むと2022年に協会創立30周年を盛大に祝ったという。ウーラントは、なおのこと紹介する資料は少なく、著名な



ドイツ文学研究者である手塚富雄氏の「ドイツ文学案内」<sup>\*2</sup>を読むと、「素朴な言葉による民謡ふうのリート、そしてとくにパラデーによつて、民衆のころをひろく掴んだシユワーベン出身の詩人で、時代随一の詩人とまで言われた。学者としては、古いドイツやフランスの伝説や文学を研究し、そのためにパラデーの材料が豊富だったのである」とある。

ウーラント同“窓”会が作られ、この本が生まれるためには、マスメディアのネットワークが大きく貢献していた。第3章に詳しく述べられているので繰り返すはしないが、元中央大学教授である猪間驥一氏が朝日新聞の『声』に「友や子を失くした思いが募るなかで、子どものころに読んだ詩の

作者を知りたい」と1956年9月に投書したことが発端であった。記事を読んだ方からの情報により、その詩は、1913年(大正2年)キリスト教青年会の集まりで一高の前総長であった新渡戸稲造氏が英語とドイツ語で歌つ

た『渡江吟』であり、詩の内容を次のように説明している。すなわち「ウーラントがラインの支流であるネッカー川を渡ったとき、山河自然はすべて昔のままであるのに昔二人の友だちと三人で乗った渡しには、今は自分一人しかいない。自分には、二人が生きているように思われるのでと三人分の船賃を払って去ったという」。朝日新聞に留まらず、週刊朝日、ラジオ放送等々とインターネットが未整備な時代にあつて、マスメディア経由で、「友情は肉体が滅びても、滅びるものではない」と繰り返し訴えたことによる。

本書が誕生するまで

ドイツ文学史を研究する人達により、新渡戸稲造氏がキリスト教の集会で紹介したのはウーラントと判明し、タイトルも「渡し場(Auf der Ueberfahrt)」と判断されたが、ウーラント同“窓”会の活動が素晴らしいのは、「渡し場」の位置確認のため現地調査、ウーラントの詩に音楽が添えられていないか、日本語訳が作られていないかを時間と空間を跨いで調査したことである。猪間氏がドイツに留

学した時は放送局を訪問し、曲の有無の調査依頼をすることともに、ネッカー川の渡し場の位置や曲の存在を確認、日本国内にあつては訳詞を依頼して口語体と文語体による翻訳を行った。やがて日本カール・レーヴェ協会(2006年)と連絡が取れて、佐藤征一郎会長からレーヴェの曲を手掛かりが出来ることから、「渡し場(Auf der Ueberfahrt)」を手掛かりとしてマスメディア経由で知り合いとなった者同士で2006年ウーラント同“窓”会が結成された。松田昌幸氏<sup>\*3</sup>は2008年テュビンゲンを訪問、テュビンゲン大学見学、ウーラントの生家、

ウーラントご夫妻のお墓詣でを行ったのである。

ウーラントの時代

ウーラントが詩に詠んだ当時のドイツは、ナポレオンの支配下で同じ国民同士の戦争が続いてい

た。テュビンゲン大学でケルナー、マイヤー、アウグストなどの文学好きの学生たちと知り合いになり「シユヴァーベン」のロマン派詩人」と呼ばれる有力なサークルにて「春の想い(Erntungs Glaube)」、「教会(Die Kapelle)」、「小舟(Die Kapelle)」、「戦友(Der gute Kamerad)」などを創作、釜澤克彦氏<sup>\*4</sup>によると「抒情的なウーラントの詩はこの無口で内向的な青年の多感な青春の心象の表現」であった。やがて、ウーラントは身分制議会の議員となりドイツ統一を夢見ていたが、劣勢を余儀なくされ故郷テュビンゲンに戻って失意のまま亡くなった。

YouTubeの時代へ

様々な職業の人達によるドイツのロマン(浪漫)文学に酔ったウーラント同“窓”会のメンバーの活動は、『渡し』にはドラマがあったウーラントの詩とレーヴェの曲をめぐって』として、丁寧な活動の歴史と活動に参加された方々の寄稿で、楽しい読み物となった。「渡し場」であれば、今はYouTubeで音楽を楽しむことが出来る。しかし、インターネットのなかった時代、ドイツロマン主義文学に感激した人たちの苦勞と喜びを経験することはできない。

\*1 同“窓”会…ウーラント同“窓”会の表記法に従った  
\*2 手塚富雄のドイツ文学案内では、ウーラントの詩は、ロマン主義の時代から写実主義の時代への過渡期の文学と位置づけられているが、ウーラント同“窓”会はロマン主義と断定している。  
\*3 ウーラント同“窓”会会員(S36理)  
\*4 ウーラント同“窓”会会員(S36法)



東京同窓会が行っている新渡戸稲造氏の多摩霊園墓参の様子も紹介されている(133頁・右)

追記:本の紹介を書くにあたって、ウーラントの略歴などを読む機会があり、調べていくと戦友(Der gute Kamerad)の歌詞を創作したことを発見した。北大山岳部では、遭難した先輩、同僚、後輩を偲ぶ際、常にDer gute Kameradを歌ってきた。しかし、作詞者も作曲者も不明であった。今回、作詞者(同時に作曲者)を知ったことは予想もしていなかったことである。このような機会を与えて戴いたウーラント同“窓”会に感謝します。  
(文責:平田更一 S44理)





田部井淳 (たべい・あつし)さん  
栃木県足利市出身、H13工・情報処理・修

この店のスープカレーは薬膳入り  
が特徴。通信講座や薬膳レスト  
ランで学び、シャナイア風にアレ  
ンジしたもの。スープカレーは、  
チキン・エビ・野菜を組み合わせ  
たメニューでどれも  
絶品。具の量も食べ  
応え十分。  
恵比寿駅が最寄り  
だが、ガーデンプレ  
イスを抜けた住宅地  
の一角にたたずむお  
店なので、道に迷う  
可能性は大きい。来  
店時はサイトで地図  
を確認するなど、予  
め準備して出かける  
とよい。お店は猫が  
目印。

札幌発祥ながらすっかり市民権  
を得たスープカレーだが、TV等  
で紹介されカレー好きにもちょっ  
と知られたお店・シャナイア。  
大手IT企業に就職したもの  
の、こどもの頃からの料理好きが  
捨てがたく、思い切って転身。料  
理学校やフランス料理店で修行の



薬膳スープカレーの店  
**シャナイア**

薬膳スープカレー・シャナイア

TEL.03-3442-3962  
東京都目黒区三田1-5-5  
【アクセス】  
JR線・日比谷線「恵比寿駅」東口より徒歩約10分  
【営業時間】  
ランチ11:30~14:30(L.O.14:00)  
ディナー平日18:00~22:00(L.O.21:00)  
土曜日17:00~21:00  
(L.O.20:00)  
日曜日・月曜日定休  
※ご予約はホームページから。

【ホームページ】  
<http://www.nekoaji.net/shania/>



高木宏昭 (たかぎ・ひろあき)さん 愛媛県出身、H29教育

現在土・日のみ工房直  
売所で販売し、平日は地元  
の産直市場やネットショッ  
プで展開。「ふるさと納税」  
は半年で300件超とか。  
今年秋には静岡市内に2店  
目の販売店をオープン予定  
である。

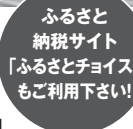
愛媛から国語教師になるべく  
北大に入学するも、道内の乳製  
品の美味しさに感動。学生時代  
よりオリジナルアイスを開発  
し、大学生協や構内「エルムの  
森」で販売するなど、「大志」の  
原点は北の大地にあったようだ。  
卒業後は道内のチーズ工房での



食卓にそっと寄り添う  
**七富チーズ工房**

本場北海道仕込み  
**七富チーズ工房**  
TEL.070-8534-4772  
静岡県富士宮市下条487-1  
【アクセス】  
新東名「新富士IC」から  
クルマで30分  
【営業時間】  
土曜・日曜10:00~17:00

【ホームページ】<https://nanatomecheese.shopinfo.jp/>



工藤 卓 (くどう・たかし)さん 余市生まれ、札幌西高卒、北大水産  
ダイエットして若返りました!(笑)

飲食業40年で培っ  
たネットワークで北  
海道産品を直送で仕  
入れられるのがお店  
の強み。  
蒲田駅西口のサン  
ロードアーケードを  
歩いていくと2分ほ  
どの所にある。  
本物の魚介の味を  
是非ともご賞味あ  
れ!

自分が食べたい料理がある・自  
分が行きたい店”をコンセプトに  
6年前に開いたお店「余市」。北  
海道産の新鮮な魚介類を食べたい  
時に訪れたいお店だ。  
店名に引かれて来店される方も  
多いそうで、北海道に所縁があつ  
たり、北大出身だったりすること

店主の工藤さんは札幌西高  
出身で、水産学部に入学。パ  
ブル期前の経済が上り調子の  
頃、学生の身ながら、講義そつ  
ちのけで居酒屋の店長を任せ  
られ、ついには大手フランチャ  
イズの店舗開発で、全国を飛  
び回っていた異  
色の経歴。

【ヒトサラ】公式情報 <https://hitsara.com/0006130407/>



北海道産魚介類の店  
**海鮮食堂 余市**

TEL.03-3734-0411  
東京都大田区西蒲田7-65-9 第3青木ビル1F  
【アクセス】  
JR線・東急多摩川線「蒲田駅」西口より徒歩2分  
【営業時間】  
平日・土曜日16:00~24:00(L.O.23:00)  
日・祝日16:00~23:00  
(L.O.22:00)  
水曜日定休(予約があれば  
営業、休みを他の曜日に変  
更)※当面ランチは休みます。



高木直人 (たかぎ・なおと)さん  
千歳市出身、札幌南高卒、H4工・合化・修

木さんに相談すれ  
ば、お好みのテイ  
スのビールを教えて  
もらえるので、ベル  
ギービール初心者で  
も十分に楽しめる。  
JR田町駅や都営  
三田線田町駅から4  
5分の所。お気軽  
にどうぞ。

以前ドイツ系企業で働いて  
いた頃、ヨーロッパに出張した  
時によくベルギービールを飲む  
機会があり、そのビール好きが  
高じて自分のお店を持つようにな  
ったとか。  
興味レベルの段階でスクールに  
通い、ビアテイスターやベルギー

店内は木をベースに落ちつ  
いた空間で、ゆっくり寛げる  
雰囲気漂う。現在は、ベル  
ギービールの樽生6種類、ボ  
トルは100種  
類以上を用意し  
ている。  
マスターの高

【公式Facebook】<https://www.facebook.com/comme.la.gueuze>

ベルギービール専門店  
**コム・ラ・グーズ**  
Comme la Gueuze



常備100種類以上のベルギービール専門店  
**Comme la Gueuze**(コム・ラ・グーズ)  
TEL03-6435-2463  
東京都港区芝5-24-16 菊池ビル2F  
【アクセス】  
JR線「田町駅」より徒歩5分  
【営業時間】  
17:00~24:00  
(日・祝、第1月曜日休み)





# 北海道枝幸町 ふるさと納税

〈枝幸町ふるさと未来応援寄附金〉

「オホーツク枝幸」の海の幸・山の幸の返礼品をご用意してます!



北海道枝幸町ふるさと納税特設サイト  
https://esashi-furusato.com/  
枝幸町応援団長 杉山和彦(S45法)  
hyper.sugiyama@kfa.biglobe.ne.jp TEL.080-5418-0719

枝幸町ふるさと応援大使  
**及川凛華さん**



馬屋原 亨史 (うまやはらりょうじ)さん 大阪市出身、H15工

「北大カレー部」というワードを聞いたことがありますか?店主が恵迪寮時代に立ち上げたグループで、ググると当時作ったウェブページが今でも見ることが出来る。在学中からのスパイスへのこだわりには驚かされる。6年かけてシステム工学を学んだものの、カレーの世界が忘れられず、3年の計測器メーカー勤務を経て、2007年に「草枕」を開業。旅行が好きで、その枕詞を店名にしたとか。一皿あたり丸々一個程のすりおろした玉ねぎをたっぷり時間をかけて煮込み、多種多様なスパイスを加えて香り豊かに仕上げている。小麦粉を使わず油は少な目で、スパイスの風味を存分に楽しめる。固めで粒も大きいご飯は、減農薬で栽培された北海道産米「大地の星」を使っている。新宿御苑の新宿門付近のビルの2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。

「北大カレー部」というワードを聞いたことがありますか?店主が恵迪寮時代に立ち上げたグループで、ググると当時作ったウェブページが今でも見ることが出来る。在学中からのスパイスへのこだわりには驚かされる。6年かけてシステム工学を学んだものの、カレーの世界が忘れられず、3年の計測器メーカー勤務を経て、2007年に「草枕」を開業。旅行が好きで、その枕詞を店名にしたとか。一皿あたり丸々一個程のすりおろした玉ねぎをたっぷり時間をかけて煮込み、多種多様なスパイスを加えて香り豊かに仕上げている。小麦粉を使わず油は少な目で、スパイスの風味を存分に楽しめる。固めで粒も大きいご飯は、減農薬で栽培された北海道産米「大地の星」を使っている。新宿御苑の新宿門付近のビルの2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。



**curry 草枕** (カレー クサクラ)  
TEL.03-5379-0790  
東京都新宿区新宿2-4-9 中江ビル 2F  
【アクセス】  
地下鉄「新宿御苑前駅」から304m  
地下鉄「新宿三丁目駅」  
A1出口より徒歩3分  
C5出口より徒歩1分  
【営業時間】  
11:00~15:00(L.O.14:30)  
18:00~21:00(L.O.20:30)

【ホームページ】https://currykusa.com/



北海道名物

## 松尾ジンギスカン

東京エリア 5店舗展開中  
全店、感染防止対策実施店です。

店舗情報は  
こちらから  
→



ジンギスカン鍋を  
みんなで囲もう



飲み放題付 3種食べくらべセット 5,500円  
マトンジンギスカン食べ飲み放題 6,500円 (税込)



下記4店舗タッチパネル、無煙ロースター完備

<b>新宿三丁目店 (74席)</b> 東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド 会館5F TEL 03-3226-2989	<b>赤坂店 (121席)</b> 東京都港区赤坂4-3-6 A-FLAG 赤坂B1 TEL 03-3585-2989	<b>銀座店 (67席)</b> 東京都中央区銀座5-9-5 チアース 銀座2F TEL 03-3572-2989	<b>秋葉原店 (70席)</b> 東京都千代田区外神田1-18-19 BITO AKIBA 5F TEL 03-3255-2989
---	---	---	--

**ジンギスカン消費量 国内大学No.1**  
「北大」ご出身の皆様、懐かしの「松尾ジンギスカン」が東京でも楽しめます!!

ご利用可能店舗

- 新宿三丁目店
- 銀座店
- 赤坂店
- 秋葉原店
- 渋谷バルコ店

北海道大学様 限定クーポン  
ご飲食代から  
**10% Off**

※「北海道大学東京同窓会会員」様限定クーポンです。  
※本券は左記5店舗でのみご利用可能です。 ※他券・割引券併用不可

渋谷バルコ店(54席) キッチン調理済みの  
定食・丼などを提供



東京都渋谷区宇田川町15-1  
渋谷バルコ7F TEL 03-3461-2985



山田 尚大 (やまだなおひろ)さん 北海道北広島市出身、H23・工院

「北大」ご出身の皆様、懐かしの「松尾ジンギスカン」が東京でも楽しめます!!

グラスフェッド (grass fed) ミルクをご存知ですか?牧草で育てられた牛のミルクのことで、穀物飼料(トウモロコシ等)で育てた一般の牛乳とは異なる、爽やかな味わいが一番の特徴。植物由来のαリノレン酸(オメガ3)やビタミンなど栄養も豊富だとか。



**ミルクデザイン株式会社**  
TEL.0158-85-7302  
北海道紋別郡西興部村  
字上興部121番地

そんな「美味しく健康なミルク」に魅力を感じ、10年勤めた野村総研を辞め、家族と北海道西興部村に移住、ミルクデザイン(株)を立ち上げた山田さん。グラスフェッドミルクとの出会いが人生を変えた。ぜひ飲んで味わってみてください!と自信満々。製造しているミルク、バター、チーズは百貨店や北海道どさんこプラザで販売し、産地直送の定期便もスタートしている。また、ミルクデザイン(株)は地域貢献や酪農の課題解決への取り組みが評価され、「北大発スタートアップ企業」に認定されている。

【グラスフェッド定期便】  
グラスフェッドミルク100%  
で作られた製品を直送  
しています。



【ホームページ】https://www.milkdesign.jp/

2023年(令和5年)

寒中お見舞い

申し上げます。

北大東京同窓会

役員一同・事務局

会長 横田 浩 (経・60)
事務局 廣重 晃以 (法・55)

納谷 峻徳

(工・38・冶金)

JFEホールディングス株式会社

名誉顧問
数土 文夫

(工・39・冶金)

石山 喬

(工・42・冶金)

岡 隆次郎

(工・42・冶金)

北海道大学校友会工ルム会長
(公財)産業教育振興中央会 理事長

杉江 和男

(工・45・応化修)

小野 喜世彦

(工・49・電子)

井上 修平

(工・50・資源開発)

松谷 寛

(工・52・電子)

有限会社ケースオフィス
代表取締役
川添 公貴

(工・56・応化)

北海道大学工学部
化学系東京同窓会(北鐘)

会長
近藤 伸一

(工・58・応化修)

北大スキー部OB会 東京支部長
北大東京同窓会理事
情報処理委員会 委員長
中村 秀治

(工・58・環科・60・機)

株式会社IHI
資源エネルギー・環境事業領域
技監
岩崎 哲也

(工・59・機)

ワイエム・エス株式会社

代表取締役
島田 久

(工・61・金属)

尾瀬沼畔長蔵小屋
尾瀬ヶ原第一長蔵小屋

代表取締役
平野 太郎

(工・H3・衛生)

十条ケミカル株式会社

代表取締役
小山 裕

(工・H4・金属)

北大スキー部OB会 幹事
北大東京同窓会理事
情報処理委員会 委員

依田 智子

(工・H4・応化修)

ミルクデザイン株式会社

代表取締役
山田 尚大

(工・H23・応物・修)



新日本相撲甚句会

理事
師範代
野呂 忠一

北海道三笠市ふるさと応援大使 (薬・39)

北海道大学歯学部同窓会
関東支部

支部長
横田 秀一

(歯・60)

森 和弘

(歯・H1)

北水同窓会

東京支部一同

支部長 樋口 達夫 (水・50・食品・修)
副支部長 細見 典男 (水・48・食品)
副支部長 吉田 克典 (水・H2・食品)

北海道大学獣医学部同窓会
関東支部

支部長
鷺野 弘明

(獣・51)

一般財団法人CSEMSの代表理事
ダクダク動物病院 総院長
コロボド立獣医科大学客員教授 日本親善大使(2011-2013)
千葉科学大学客員教授
ダクダク動物病院 東京医療センター
東京都区役白金台S14-12 FTEL03530002
ダクダク動物病院 代々木
東京都北区滝野川T1302 FTEL009520006(O)
ダクダク動物病院 久我山
東京都杉並区久我山3-7-7 FTEL03930004430006(O)



加藤 元

(獣・31)

東京フラテ会

会長 畠山 昌則 (医・50)

社会医療法人
財団大和会
武蔵村山病院

院長 鹿取 正道 (医・H3)

北大法学部  
東京同窓会 役員一同

会長 小口 正範 (法・53)  
事務局長 大野 峻 (法・H18)

北大経済学部  
東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一 (経・57)  
事務局長 菅埜 誠 (経・52)

一般社団法人  
札幌農学同窓会

東京支部 役員一同  
理事長 櫻田 巧 (農・58・農経)  
副理事長 別所 智博 (農・56・農化)  
副理事長 高木 忍 (農・58・農化)

佐々木 豊実  
(農・35・林学)

財界さっぽろ  
編集部記者  
野口 晋一  
(文・H8)

行政改革推進会議歳出改革WG委員  
公益財団法人交通協力会  
常務理事  
石堂 正信  
(法・44)

公益社団法人北海道倶楽部  
副理事長兼常務理事事務局長  
DG株式会社  
代表取締役  
本間 修  
(法・45)

国立研究開発法人  
日本原子力研究開発機構  
理事長  
小口 正範  
(法・53)

株式会社ぷらう  
代表取締役  
石川 裕一  
(法・54)

株式会社デイリーテクノ  
代表取締役社長農学博士  
富田 守  
(農・36・畜産)

松沢 幸一  
(農・48・農化修)

技術士建設部門  
坂倉 雅夫  
(農・48・農工)

一般社団法人緑の循環認証会議  
専務理事  
梶谷 辰哉  
(農・50・林学)

JFE鋼板株式会社  
代表取締役副社長  
堀江 亮介  
(法・61)

中外製薬株式会社  
上席執行役員  
デジタルトランスフォーメーションユニット長  
志済 聡子  
(法・61)

株式会社サクセスボード  
代表取締役社長  
菅野 聡  
(法・62)

三井化学株式会社  
代表取締役社長  
橋本 修  
(法・62)

中外製薬株式会社 特別顧問  
(社)日本経済団体連合会 審議員会副議長  
三菱電機株式会社 社外取締役  
株式会社小松製作所 社外監査役  
小坂 達朗  
(農・51・農化)

トアドバイザー  
櫻田 巧  
(農・58・農経)

北大スキー部OB会東京支部 幹事  
北大東京同窓会 理事  
(社)札幌農学同窓会 東京支部 理事  
(公社)全日本学生スキー連盟 理事長  
新宿高校朝陽同窓会 副会長  
高橋 寛  
(農・62・農工)

ビジネスサイエンス  
& テクノロジー株式会社  
代表取締役  
小野 桂子  
(農・62・農化)

北海道大学大学院法学研究科  
研究科長 法学部長  
尾崎 一郎

北海道大学法学部同窓会  
会長  
佐々木 亮子  
(法・47)

北海道大学法学部同窓会  
副会長兼事務局長  
高橋 了  
(法・47)

株式会社トクヤマ  
代表取締役社長執行役員  
横田 浩  
(経・60)

三晃堂三井印店  
代表  
三井 晃一  
(農・H1・農学)

Crowe GTA Myanmar Co., Ltd.  
Managing Partner  
瀬戸山 洋介  
(農・H12・農工)

新入会員  
(令和4年7月)、敬称略  
飯田順一(工・建築S53)、佐藤孝信(文・行動科学S57)、円谷元彦(法H7)、牧野一石(薬H4)、野口周(法H27)

訃報  
令和4年7月以降にご逝去の  
お知らせをいただいた方々。  
敬称略  
児玉勝臣(工・電S28)、牧野英克(法S43)

開催2件の計5件のワークショップが採択されました。採択された本学工学研究院の森太郎教授、大橋俊朗教授、文学研究院のケリン・ヤコブス特任准教授、保健科学研究院の澤村大輔講師の4名へはマスケルVCより、来学中であったメルボルン大学理学研究院のハッチソン上級講師へは資金清博総長より、それぞれ採択



マクラスキーDVC



資金総長、マスケルVCと採択者たち



マスケルVC



参加者集合写真

メントが、資金総長からは先住民研究、研究林、練習船を含む新規交流可能性の候補が示され、増田隆夫理事・副学長（研究・産学官連携）より双方の産学官連携拡張への思いが語られました。昨年のオンライン・ダイアログに端を発する全学連携について、今後の強化が期待されます。

(国際連携機構)

証書が授与されました。横田篤理事・副学長（国際・SDGs）の司会で行われた授与式においては、マスケルVCからは初渡日の訪問先が北海道大学となったことへの想い、今後への期待が、マクラスキー研究担当DVCからは電子科学研究所のナノマテリアルから陽子線治療センターの巨大な機器までスケールの違いを含めた可能性を見せ、貫つたこと

スラブ・ユーラシア研究センターのディビッド・ウルフ教授が賞しました。同賞は、ドイツ政府が全額出資するアレクサンダー・フォン・フンボルト財団が創設したドイツで最も栄誉ある学術賞で

### スラブ・ユーラシア研究センターのディビッド・ウルフ教授がフンボルト賞を本学初受賞

7月1日（金）付けで、総長直下の組織として「創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点（Data-Driven Interdisciplinary Research Emergence Department: D-RED）」を設置しました。本拠点は、第4期中期目標期間における本学の6つのビジョンのひとつである「データ駆動型の『北大』の実現に向けて一翼を担う組織であり、特に数値根拠に基づいた本学の強みとなる融合研究領域の抽出機能及び課題解決に取り組む企業のニーズに応える機能、さらにデータ駆動型社会の融合研究の推進機能を整備し、学術融合分野の創発や新たな学術連携・産学連携の構築により、本学の強みの創出を強く推進するものです。

す。基礎的な発見、新しい理論あるいは発見が、当該研究領域を超えて永続的な影響を及ぼし、さらに、将来も優れた研究を生み続けることが期待される研究者に与えられます。これまで日本人では、小柴昌俊、村山斉、小林俊行、野

また、課題解決型の先端融合研究を行い、実証・社会実装を同時に進めていくというエコシステムを実現し、地域の課題解決に繋がる研究開発及び強みを生かした多様な研究活動を推進・共創する拠点を目指し、本学発スタートアップ企業の創出へと繋げるため、地域連携による新たな価値共創の実現に貢献していきます。

(研究推進部研究支援課)



資金清博総長から辞令を受けた長谷山美紀拠点長

### 「創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点（D-RED）」を設置

・副理事担当、マーク・キャシディ工学・情報科学研究院長、ティモシー・リンチ国際担当教養学副研究院長、マーガレット・メイフィールド生態学部門長（理学研究院代表として来訪）、ジェイムズ・ハッチソン理学研究院上級講師、ミ

# 北海道大学の近況

(2022年 夏・秋)

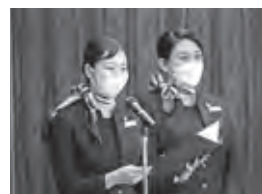
北海道大学社会共創部広報課

### 日本航空株式会社との連携協定を締結

本学は、6月7日（火）に、日本航空株式会社（以下「JAL」）との連携協定を締結しました。同日に行った協定締結式及び記者発表には、JALから赤坂祐二代表取締役社長ら3名が、本学から資金清博総長、山口淳二理事・副学長が出席し、JALの客室乗務員として活躍する本学卒業生2名の司会進行により執り行いました。



赤坂代表取締役社長と資金総長



本学を卒業し、客室乗務員として活躍する齋藤夢乃氏(左)、酒井玲奈氏(右)

参加した記者からは多くの質問

### メルボルン大学学長一行が本学を訪問

6月27日（月）、メルボルン大学からダンカン・マスケルVC（Vice-Chancellor・学長相当）、ジェイムズ・マクラスキー研究担当DVC（Deputy VC・理事相当）、ジャスティン・ゾベル大学院研究 & 国際研究担当PVC（Pro VC



抱負を述べる資金総長

があり、特にJALグループの航空機が収集したデータを用いての調査・研究構想に高い関心が寄せられました。資金総長からは、これまでになく重要なデータが得られることへの期待とともに、本協定のもとで北海道を舞台に様々な社会課題の解決に取り組み、世界に発信することによってサステイナブルな社会創りをリードしていく旨の抱負が述べられました。今後、本学とJALは、温暖化対策、地域活性化、人材育成等の観点を中心に協業していきます。

(社会共創部社会連携課)

カ・シモダ理学研究院研究支援担当、マリア・ロイトマン国際研究副部長、マーク・グレゴリー国際研究戦略アドバイザーの計10名が北海道大学を訪問しました。本学とメルボルン大学はこれまで、昨年10月に行われた研究・国際研究担当執行部間のダイアログに基づき、本年3月に「北海道大学—メルボルン大学ヘルシーエイジングに関するパートナーシップ・アランス」を開催しました。

今回、マスケルVC一行は、既存連携先である人獣共通感染症国際共同研究所、電子科学研究所を訪問した後、今後の可能性を見据えてICRED、スベスミッソンセンター、陽子線治療センターの研究施設を訪問し、さらに大学病院、医学研究院、工学研究院、理学研究院、先端生命科学研究院、メディア・コミュニケーション研究院の各部署長等と会談を行いました。また、夕刻には本学とメルボルン大学が共同出資する「Hokkaido-Melbourne Joint Research Workshops Fund（共同研究ワークショップスファンズ）」採択授与式を開催しました。当該ファンズは、両校の研究者が最低1名ずつ代表者となり合同で申請するもので、初回となる今回は北海道開催3件、メルボルン

水克己ら自然科学の研究者が受賞しています。

受賞はウルフ教授の30年間にわたる、20世紀ロシアのアジアにおける活動の歴史についての研究に対するものです。同教授のハルビンに関する著作『To the Harbin Station, Stanford (1999) 邦訳『ハルビン駅へ』講談社、2014年)は、新しい帝国論の基礎的なテキストであると思われており、従来は機密文書とされていた文書館史料による覇権主義の慣行についての、より広範で、きめの細かい分析に基づくものでした。同教授が編集あるいは共同編集された書籍や雑誌の特集号では、30人以上の日本人歴史家によるエッセイや論考を含む、多くの北東アジア研究の成果が英語圏の読者に紹介さ



ウルフ教授の著作『ハルビン駅へ』

れました。ウルフ教授は、4つの大きなプロジェクトを進めている最中で、これまでの研究よりもさらに影響力のある研究成果を出す可能性があると見られています。



ウルフ教授

です。ウルフ教授は、同大学で講義を行い、同大学にスラブ・ユーラシア研究センターの2人のポスドクを派遣したことに加えて、同大学の高等研究所を訪問し、北太平洋のロシアアティヴというテーマでモスクワの

この10年間、ウルフ教授は、本学とルフトヴィヒ・マクシミリアン大学（ミュンヘン）の間の学術協定に基づいて、アジアにおけるロシア研究のために新たに設けられた教授ポストと緊密に協力してきました。これは、ロシア東方研究のためのヨーロッパで唯一の学術ポストであり、現在、ロシア医学史の著名な専門家であるアンドレアス・レンナー氏がこの教授になっていま

**令和4年度オープンキャンパスを3年ぶりに対面形式で開催**

8月6日（土）から8日（月）までの3日間、札幌・函館の両キャンパスにおいて、3年ぶりに対面形式でオープンキャンパスを開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対象者を原則として小中高生に限定したうえですべ

ドイツ歴史研究所との間で研究協力をを行い、ハイデルベルク大学の北太平洋に関する叢書の編集顧問を務めました。このようなドイツとの密接な研究協力も高く評価されました。授賞式は、2023年6月にベルリンで開催されるドイツ大統領主催の晩餐会で行われる予定です。（スラブ・ユーラシア研究センター）

て事前予約制とし、定員を例年の約半数程度としましたが、期間中は、大勢の参加者でキャンパスが賑わいました。

7日（日）には「自由申込プログラム」を、6日（土）及び8日（月）には「高校生限定プログラム」を主に実施し、多くの高校生



本学の学生主催による「高校生限定プログラム」の様子



参加者で賑わう構内

等が、学部等が企画した説明会、模擬講義・ゼミ、実習・実験、見学会、保護者等も参加可能な大学概要説明の講演や個別相談会など、多彩なプログラムに参加しました。参加者にとっては、本学の学びを味わう貴重な機会となりました。（アドミッションセンター）

令和4年度オープンキャンパス 参加者数（注1）

学部等名	自由申込プログラム	高校生限定プログラム	部局等別合計
文学部	364	42	406
教育学部	135	145	280
法学部	267	66	333
経済学部	176	132	308
理学部	936	154	1,090
医学部医学科	88	91	179
医学部保健学科	184	199	383
歯学部	196	28	224
薬学部	258	278	536
工学部	519	226	745
農学部	190	145	335
獣医学部	185	41	226
水産学部	434	104	538
大学院環境科学院	152		152
附属図書館(本館・北図書館)			
国際交流課	33		33
サステイナビリティ推進機構	31	46	77
大学院教育推進機構CoSTEP (旧 高等教育推進機構CoSTEP)	15		15
各種個別相談会(注2)、講演・説明会(注3)	266		266
大学文書館	113		113
北大キャンパスビジットプロジェクト	231	28	259
総合計	4773	1,725	6,498

(注1)学部等が実施するプログラムは、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、対象者を原則として小中高生に限定したうえで事前予約制とし、定員を例年の約半数程度とした。  
(注2)各種個別相談会の内訳  
初年次教育・学部移行個別相談(教育推進課)、新渡戸カレッジ個別相談(新渡戸カレッジ)、学生生活個別相談[学生寮・奨学金等](学生支援課)、学生相談総合センター・アクセシビリティ支援室個別相談、キャリアセンター就職個別相談(キャリア支援課)、入試個別相談(アドミッションセンター)  
(注3)講演・説明会の内容  
「北海道大学で学ぶということ」(アドミッションセンター)、「新渡戸カレッジへのいざない目指せ!北大発グローバルリーダー」(新渡戸カレッジ)、「スカラシップアドバイザーによる日本学生支援機構奨学金説明会」(学生支援課)

**令和4年度国立研究開発法人日本医療研究開発拠点の形成事業」に採択「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」の開始**

本学は、令和4年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」において、東京大学（フラッグシップ拠点）、大阪大学・千葉大学・長崎大学（シナジー拠点）とともに、シナジー拠点として採択されたことに伴い、10月

1日（土）、創成研究機構にワクチン研究開発拠点（以下「本拠点」）を設置しました。本拠点では、国産ワクチンの開発に向けて「ワクチンの開発・生産に資する革新的研究開発の推進」、産学官・臨床現場との連携による実用化、人材育成に向けた体制構築、「国内外の最先端の研

究開発動向に関する情報収集・分析」のミッションの下、ヒトに感染症を引き起こす可能性のある病原体のライブラリーを予め整備し、ワクチン開発に資する基礎研究の推進を通じて得られた成果を導出し、社会に実装する「先回り戦略」を実施します。本拠点は、AMEDに設置され

た先進的研究開発戦略センター（SCARDA）のマネジメントに沿って、拠点長である人獣共通感染症国際共同研究所副所長の澤洋文教授を中心に、産業界及び臨床現場とダイレクトに連携した運営体制を構築するとともに、国内外の研究動向や研究進捗に応じて機動的に研究・体制を調整して成果を挙げることを目指します。

また、本拠点内にワクチン開発部門、生体応答解析部門、臨床開発部門を設置し、それぞれミッションをもって研究開発に取り組みます。

これらの活動により得られる成果を基盤として、臨床現場と基礎研究の密接な連携体制を構築するほか、診断・ワクチン開発・生体応答までを網羅的に対象とする技術を開発する基盤的知見の集積と実装を行うとともに、病原体に紐づくワクチンシードの情報を実回りで収集・活用できる基盤を整備します。さらに、トップレベル研究開発拠点群の若手研究者と外国籍研究者の連携による国際感染症対策ネットワークを基盤とする世界レベル感染症対策プラットフォームを構築します。

（研究推進部研究支援課ワクチン研究開発拠点事務室）

(株)ブライダルは  
北海道大学同窓会の  
皆様の「結婚」を応援します。



# 結婚

## 45年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この会報誌「FRONTIER」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様は特典付(登録料100%OFF)にてご入会いただけます。

**北海道大コース** 登録料33,000円(税込)  
100%OFF

お問い合わせ  
(月曜定休)



0120-415-412

詳しくはホームページをご覧ください。

(株)ブライダル

検索



ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>

1978年創業  
株式会社 **ブライダル**

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F  
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F

### 北海道大学の近況



坂岡船長による挨拶



前列右から、都木水産学部  
長、坂岡船長、佐藤哲生函館  
キャンパス事務長と乗組員



見送りのため水溶性紙テープ  
を準備する都木水産学部長

水産学部附属練習船「うしお丸」II世の最終出港式を、10月7日(金)に函館市国際水産・海洋総合研究センター前の弁天地区埠頭にて行いました。

うしお丸II世は平成4年9月の就航から30年間にわたり、主に噴火湾、津軽海峡、道東太平洋沖合、知床沖など北海道周辺の沿岸域での海洋観測(水温・塩分・海流・採水・プランクトンなど)に関する実習や、トロール実習他漁業実習、音響計測実習、海生哺乳類や鳥類の目視調査などの実習及び研究に従事してきました。

平成14年には船体延長・改造を行い、船内諸設備の拡充と調査観測機能の向上を図ってきましたが、老朽化のため新潟造船株式会社新潟工場にて建造が進むうしお丸III世にその任を譲ることとなりました。

出港式では、都木靖彰水産学部長から、任務を全うするうしお丸II世、そしてうしお丸II世に関わった乗組員へ深い感謝を述べられ、花束が贈呈されました。

船を代表し、坂岡桂一郎うしお丸船長からの挨拶では、教員・学生・事務職員、何度も修繕にあたってくださった関係企業の方や、家族への感謝のほか、自身のお丸初出港時の思い出を述べられた後、「最後の航海も安全に出港します。行ってきます」と述べられました。

うしお丸II世は、教職員、学生、OB・OG、地域の方など約70名が見送る中、新潟へ向け出港し、新たな船主に引き渡されました。

10月25日(火)、うしお丸III世は乗組員を乗せ函館港に到着しました。

(水産科学院・水産科学研究所・水産学部)

水産学部附属練習船「うしお丸」II世最終出港式を挙行

東京基準より北海道基準、北の夢。



代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 **ぶらう**

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL : 011-219-2223 FAX : 011-219-2885

札幌の  
都心を生きる。



サッポロファクトリー(約330m・徒歩5分)

暮らしを  
自由に安心に。



24時間365日常駐コンシェルジュ

この先も  
人生を幸せに。



大浴場(2022年2月撮影)(女湯)

毎日を  
仲間と過ごす。



サークル活動支援

※竣工写真を除く掲載の写真は全てイメージです。

イニシアグラン。それは、これまでのマンションやシニア住宅とは違う、人生を謳歌するレジデンス。

# SAPPORO NEW STANDARD

札幌都心を生きる、人生100年時代のニュースタンドへ。



外観写真(2022年2月撮影)

札幌市中央区・北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業

所有権型サービス付レジデンス

## 〈イニシアグラン札幌イースト〉

「創生イースト」  
再開発エリア内

「サッポロファクトリー」  
徒歩5分

共用部が充実した  
大規模202邸  
※分譲対象住戸数を表しています。

専属コンシェルジュによる  
サポートサービス

1LDK 2,828万円(215号室) / 2LDK 3,818万円(403号室)

### 建物内ご見学会開催中[事前予約制]

[イニシアグラン札幌イースト] ■全体概要◎所在地/北海道札幌市中央区北四条東七丁目375(地番)◎交通/地下鉄南北線「さっぽろ」駅21番出口まで徒歩11分、地下鉄東豊線「さっぽろ」駅21番出口まで徒歩11分、JR函館線「札幌」駅南口まで徒歩16分◎総戸数/203戸(分譲対象住戸202戸、医療関連施設等区画1戸)、他管理事務室1戸等◎構造・規模/鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上14階建◎敷地面積/11,542.96㎡(本団地全体)◎建築面積/6,445.11㎡(本団地全体)◎建築延床面積/31,302.76㎡(本団地全体)◎用途地域/近隣商業地域◎分譲後の権利形態/土地:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による敷地利用権(所有権)の共有・建物:専有部分:区分所有権 本マンション共用部分:区分所有者全員の専有面積割合による共有 本団地共用部分:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による共有◎竣工時期/2021年9月竣工◎入居時期/即入居◎事業主/北4東6周辺地区市街地再開発組合◎売主/株式会社コスモスイニシア◎管理会社/大和ライフネクスト株式会社◎管理形態・管理組合結成後、大和ライフネクスト株式会社に委託(管理形態:巡回)◎建築確認番号/第ERI-19015391号(令和元年6月28日)第ERI-200066616号(令和2年4月9日)(変更確認)第ERI-20018911号(令和2年6月23日)(変更確認)第ERI-20032315号(令和2年10月20日)(変更確認)第ERI-21021033号(令和3年8月3日付)(変更確認)◎施工会社/施工(建設、請負)フジタ・岩田地崎建設・田中組 特定建設工事共同事業体◎駐車場/敷地内平置き身障者用5台収容、本団地内自走式立体駐車場80台収容、敷地内使用料:月額25,000円、本団地内自走式立体駐車場使用料:月額18,700円◎自転車置場/66台収容(平置き) 使用料:月額300円◎サービス費/一人目月額31,900円・二人目以降一人につき月額15,950円◎サービス保証金/一人目174,000円・二人目以降一人につき87,000円(入居時一括・退去時返還あり)◎入居一時金/一人目550,000円・二人目以降一人につき275,000円(入居時一括)◎主たる設備/電気:北海道ガス株式会社、ガス:ガス小売業者、水道:札幌市水道局/北海道ガス株式会社◎その他/株式会社コスモスライフサポートによる第三者管理方式◎分譲中/販売概要◎先着順申込受付中◎販売戸数/44戸◎価格/2,828万円~5,808万円◎最多価格帯/3,900万円台(6戸)◎間取り/1LDK~2LDK◎専有面積/41.63㎡~70.78㎡◎管理費/21,600円(月額)◎修繕積立金/4,900円~8,400円(月額)◎修繕積立基金/416,300円~707,800円(入居時一括)◎バルコニー面積/8.16㎡~35.07㎡ ■お問い合わせ/営業時間/定休日/イニシアグラン札幌イースト 現地インフォメーションサロン 0120-1248-22 10:00~18:00(水・木・第3火曜日定休(祝日は営業)) (夏季・年末年始休暇あり) ■モデルルーム公開状況/モデルルーム公開中 ■会社情報/株式会社コスモスイニシア 国土交通大臣免許(12)第2361号(一社)不動産協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 東京都港区芝5-34-6 03-5444-3530 ■注意事項/マンション◎広告掲載の交通所要時間には、乗り換え・待ち時間が含まれております。また、時間帯により多少異なる場合があります。◎広告掲載の写真の家具・備品等は価格に含まれません。◎先着順申込受付につき、販売済みの場合はご了承ください。◎お申込時には、印鑑、直近2年分の収入証明書、本人確認資料(運転免許証、健康保険証等)をお持ちください。詳細はお問い合わせください。◎販売価格には建物についての消費税が含まれています。※本団地内自走式立体駐車場については、日本パーキング株式会社と直接契約しています。◎お申込み前にお持ちの方は、お薬手帳、要介護認定を受けている方は、介護保険証をお持ちください。◎取引条件の有効期限/2023年3月31日



売主

サービス企画・運営



イニシアグラン札幌イースト 検索  
お問い合わせは「イニシアグラン札幌インフォメーションサロン」  
**0120-1248-22**  
営業時間:10:00~18:00 定休日:水・木・第3火曜日(祝日は営業いたします)

二次元コードから公式サイトへ  
アクセスいただけます



## 事務局からのお知らせ

### 北大東京ジンパ 2023

日時:5月21日(日) 12時~(予定)

会場:昭和記念公園バーベキュー会場

※申し込みなどについては、北大東京ジンパのホームページで  
ご確認ください。



### 2023年度 東京同窓会 総会

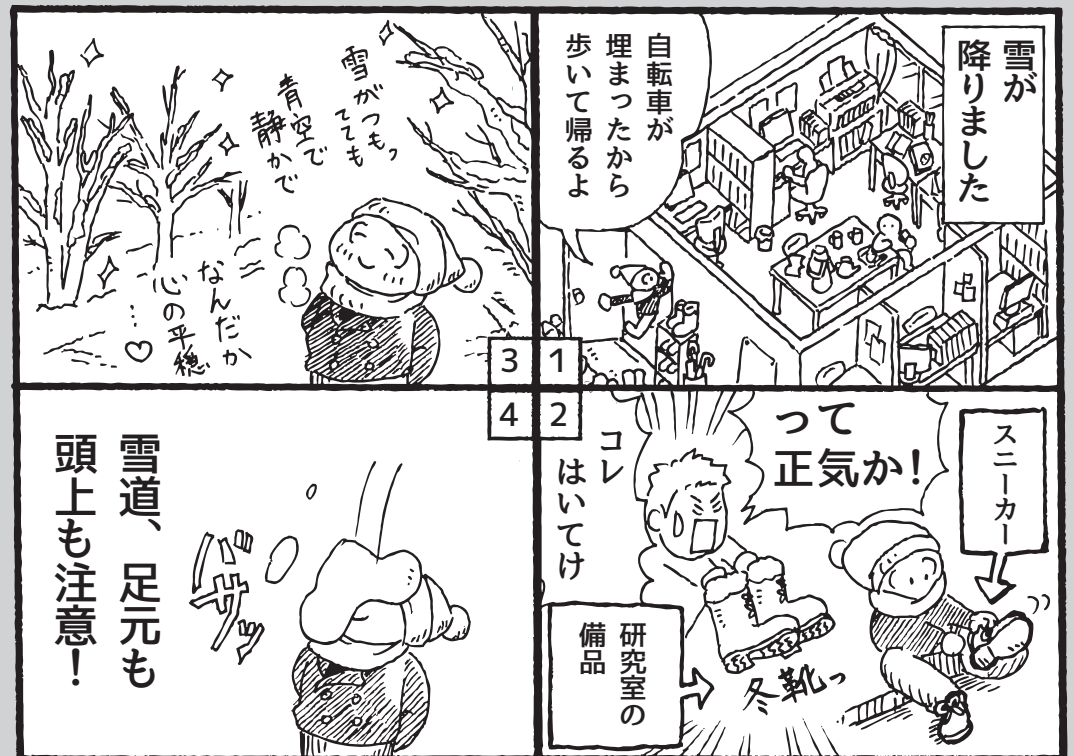
日時:6月10日(土) 17時~

会場:銀座ライオン クラシックホール  
銀座ライオンビル6F(銀座7丁目)

次第:17時 受付  
17時30分~18時30分 総会、講演会  
18時40分~20時30分 懇親会



※詳しくは総会議案書(4月発送予定)やホームページでご連絡いたします。



イラスト©高野葵(H25環境科学院)

歳久人の北大あるある





# 北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

大変古い記憶を辿ってみた。終戦というか敗戦というか大変複雑な思いが交錯する年の夏であった。数多の悲惨な情報が溢れる中、何はともあれ銃の代わりに鉛筆が走る時は戻って来たが、食うもの、着るもの、荒んだ心などは何処に置いてきたのか。そのような時代の初めての夏休みであった。

物は揃った。天幕は北大山岳部から借りたし服装もそれなりに用意できた。一日目は崩れかけた吹上温泉、翌日から霧の中の十勝岳を越えて美瑛岳の肩、オプタテシケ山を越えてスマヌブリのおたまじやくし群がる水溜り、鉦目（地形測量の折りの目印）を辿りながら銀杏ヶ原の花畑、そしてトムラウシ山の肩を間近にして雷雨。猛烈な驟雨！



ヨツバシオガマ

しかたなく天幕を張ったが夜半に水浸し！

夜が明けると早速ハイマツの枯れ枝探しに歩いたが、しつかりと水を吸った枝ばかり。朝飯は後回しにして、五色ヶ原へ急いだ。枯れ木を探さないと飯が食えないのだ。やっと忠別鞍部で枯れ木に出会う。朝飯と昼が一緒だ！やれやれ。

高根ヶ原にかかる当たりのハイマツの茂みになにやら黒い姿。あまりにも近いから一同身構えたがおどけた姿がなにやら愉快だ。間もなく彼はハイマツに姿を消した。若い熊だったのかと安堵したのは我らであった。

ハイマツ林の先は高山のお花畑であったがしつかりと眼に残されているのは風に揺れる赤い嘴を見せるヨツバシオガマであった。群生していたように思う。

礼文島に行く、自動車道の法面などに背丈が大きくて、花の段数が多い大きなヨツバシオガマに出会うことがあるけど、こちらはレブンシオガマと呼んで区別している。何か遅しい。

(昭25理・植)

## 編集後記

■マスクや3密制限、ワクチン接種などいろいろあった3年間。そして4年目の今はwithコロナということなのだろうけど、周りの感染した人・しない人の飲み会の頻度や接種の有無を見てみると、何がホントに効いているの?!と、もやもや感がないではない。

とはいえ、東京同窓会で最大の集客イベントである北大ジンパの準備がスタートし、いよいよ4年ぶりに行われそう。本誌夏号からは、北大ジンパの開催記事や、勉強会や交流会のお知らせ記事をお届けできることを期待したい。(島田久)

## FRONTIER 北海道大学 東京同窓会 会報

第62号 2023年(令和5年)2月20日発行

発行所:北海道大学東京同窓会  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー10階

☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp

H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 横田 浩

編集人 高橋 寛

山本 淳博

陣谷 義直

島田 久 高野 葵 浦崎 稔史  
八谷 俊雄 青山 千穂 谷畑 敦史

